京城日報

汽車時間表（七月十日改正）

[illegible]

七日夕刊

定價 本紙 一部金二錢五厘 一ケ月金六十五錢 …
廣告料 …

京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 …
印刷人 小川三之介

◎米陸軍擴張費可決

米國上下兩院協議會に於ては陸軍豫算二億六千七百五十九萬弗を可決せり該豫算中には戰時兵員二十五萬人の擴張費を包含せられ居れり(紐育電報)

◎支那新內閣員顏觸

八月一日より召集せられたる支那國會は目下開會準備中なるが國會に提出し同意を得可き新內閣員顏觸左の如し(北京電報)

▲國務總理 段祺瑞 ▲外交總長 唐紹儀 ▲內務總長 孫洪伊 ▲陸軍總長(兼任) 段祺瑞 ▲海軍總長 程璧光 ▲交通總長 許世英 ▲參謀總長 王士珍 ▲財政總長 陳錦濤 ▲司法總長 張耀曾 ▲農商務總長 谷鍾秀 ▲教育總長 范源濂

◎總統府と國務院の權限

總統府と國務院との權限不明なる爲め動もすれば衝突を起すより左の五箇條を制定せり(北京特電)

(一)中央地方の官吏より大總統宛の上申は全部國務院を通過する事(二)中央地方の特任官の任命は大總統國務總理の協議を要す(三)大總統が各部の改革を爲さんとするときは國務總理の同意を要す(四)國務總理より大總統宛の文書は總統秘書長を經由するを要す(五)大總統令は總理の副署を要す

◎烈暑中英軍の猛擊

英軍總司令部附タイムス特派員の所報に曰く十六日間一滴の雨なかりしかば塵煙濛々と立ち昇り暑熱烈しきに拘らず英軍の砲擊は頗る猛烈にして日夜絕間なし(倫敦電報)

◎チオーモン突破の効果

佛軍是より攻勢に出でん

四日夜佛軍は再びチオーモンの獨逸戰線を突破しフルーリーの北方に於て曾て失ひたる陣地の大部分を奪還せり佛軍は今や守勢を維持するに甘んぜずして形勢は佛軍をして何時にても攻勢に出づるを得しむるに至れり此の優越なる地步は佛軍の將來の大に有望なるを語るものに外ならず(巴里電報)

◎墺軍攻勢に轉す

墺軍はガリシヤに於て攻勢に轉じ露軍はクチー附近に於ける慘澹たる激戰の後敗退せり(紐育電報)

◎露國農相更迭

露國農相ナウモリ氏辭職しボブリンスキー氏其後を襲ひて就任せり(露都電報)

◎露軍需新注文

露國政府より又復軍需品多數の新注文來れり(東京電報)

◎首相の日光行

大隈首相は日光御避暑中なる兩陛下の御機嫌を奉伺すべく夫人家族同伴來る十二日午前九時上野驛發同地に赴き約一週間神山旅館に滯在する由(東京特電)

◎諸星退京す

政界の動搖と共に歸京中なりし大山公及び松方侯は七日那須野の別莊に向ひ西園寺侯石井外相は伊香保に赴き原政友會總裁犬養國民黨總理も避暑地に向つて去れり(東京電報)

◎總督の首相訪問

六日寺內伯は大隈首相を永田町官邸に訪問し約二時間に亙り會談する所ありたりと(東京電報)

◎樞府顧問行賞

樞密顧問官に對する日獨戰爭論功行賞近く行はるべしと(東京電報)

◎林公使動靜

駐支公使林權助男は七日朝下關著六日來待ち受け居りたる松平天津總領事と面會し公使は二日間下關滯在の上十日門司解纜の郵船營口丸にて赴任の筈なり(門司特電)

◎蒙軍と宗社黨

討伐軍增派と其の困難

宗社黨と勾結せる巴布扎布の蒙古軍が一度突泉縣において吳統領派遣の討伐軍を擊破してより北滿方面に潜在せる宗社黨員は相呼應して蹶起せんとし匪類之れに加はり吉林、長春は勿論、鐵嶺、開原、昌圖、掏鹿、大窪疙等次第に不穩の狀を呈し馬賊の一團亦之れに參加し奉天省附近にも宗社黨と稱する三百餘名の匪類出沒し今にも省城に押寄するが如く風說せられ人心恟々たる爲め城內は三日より既に戒嚴令を施行せり張奉天督軍は之が爲に非常に神經を惱まし馮討辦及び幕僚を召集して此程軍事會議を開催せるが其結果蒙旗附近の駐屯兵並に省防本部軍隊を洮南方面に增派するに決し之が軍資として取敢ず省內各銀行より五萬元を借入れ直ちに之を戰地に輸送したり近報によれば先發討伐隊は突泉縣恢復後前進して蒙軍を擊破し其の二百餘名を斃し十餘名を生擒し猶ほ軍馬、軍器、彈藥、其他多數の鹵獲品ありたりと云ふも蒙軍は其の勢ひ未だ衰へず所在に出沒し討伐軍をして奔命に疲れしめつゝあり昨今蒙古は暑氣激甚なる爲め地理に暗き討伐軍は行軍に頗る困難を極め新たに征蒙司令を命ぜられたる第五十五旅張旅溪の一軍は洮南に向ふ途次酷暑のために軍馬甚しく疲勞し携帶糧食の如き大半腐敗し一方ならぬ困難を嘗めつゝありと云へば優勢なる蒙古軍と交戰して果して克く全勝を得るや否や頗る疑問なりとす。一方北滿地方の宗社黨は長春に一擧を謀り目下猶ほ暴動を試み居るのみにて大事を惹起するに至らざるも前記の如く馬賊連と勾結して漸次不穩の狀を示し居るを以て討伐軍若し蒙軍を掃蕩する能はず却つて蒙軍の南下を見ることあらば所在匪賊の如く蜂起せんも測り知るべからず現に宗社黨の一頭首たる大可の如き滿洲に出入して種々劃策を廻らし居り之に對し衛に內應を約せるもの亦尠からずと稱せらる(大連)

◎天長節と聖上

日光御避暑中の聖上陛下には來る卅一日の天長節佳辰の際御還幸の事なかるべしと洩れ承る(東京電報)

◎共通法案提出

朝鮮は勿論、臺灣樺太等の新領土に對する內地の法規共通問題は久しき懸案にて朝鮮の如きも中央政府の交涉に依り既に三四年以前案を具して法制局に廻付し居たるが中央政府にては過般漸く一切の審議を了したるを以て之を一括し愈今期議會に提出其の協贊を求むることゝなれり

◎降雨と農作物

本年は京畿道を含む南鮮地方に於て六七月に多量の降雨あり、其の雨量既に平年一箇年分を越へ處々に出水を見て農作物に與へし被害鮮少ならざりしが八月に入りても天候尙ほ定まらず雨天曇天相踵ぐの狀況に在り之れに反し京畿道以外の北鮮地方に於ては天候概して適順なれば今後尙ほ多少の降雨を見るも左して憂ふるに足らず農家は稀有の豐作を豫想し居れるが前記南鮮地方に在りては今後斯かる天候持續せば米は勿論其の他一般の農作に對して多大の影響を免かれざる可く農民は昨今憂苦措かず只管天候の恢復を祈り居れり

◎稅務主任會同

各道稅務主任に主要府稅務主任事務打合會同第一日は七日午前十時より總督府第二會議室に開催總督府よりは荒井度支部長官以下同部內及關係各課長等出席し酒稅令施行に關する打合ありて午後三時散會せり

◎地査委員會

高等土地調査委員會第一部は七日午前十一時より總督府第一會議室に開會山縣委員長以下各委員出席し土地查定不服申請の件に就き審査決定の上正午散會したり

◎立花中將消息

駐剳軍第十九師團長立花陸軍中將は六日朝新義州發平壤に向へり

◎白水少將發程

駐剳軍參謀白水陸軍少將は六日朝龍山發北鮮方面視察の途に上れり

◎早川主計正歸任

北鮮守備隊視察中の第十九師團經理部長早川主計正は七日夜龍山に歸任せり

◎芳賀院長歸任

南鮮方面出張中なりし總督府醫院長芳賀榮次郞氏は七日午前八時五十分南大門著列車にて歸任せり

◎閔長官歸京

北鮮方面視察中なりし閔李王職長官は六日午後五時十分南大門著列車にて歸京せり

◎村田博士通過

採木公司理事村田林學博士は六日朝南大門通過東上せり

◎研究會新學期

永樂町二丁目研究會にては九月十一日より新學期を開始する筈なるが本年度よりは特に朝鮮語の專科を附設し專門教授を爲す由、入會希望者は同會事務所に就き詳細承合す可しと

◎雇員筆記試驗

總督府雇員筆記試驗は七日午前八時より永樂町研究會に於て執行されしが今回の受驗者は八十五名に達せり

◎京城酒商組合會

酒稅令の改正に伴ひ朝鮮移入酒商組合は昨日京城ホテルに大會を開き種々協議する所ありたるが更に京城酒商組合は來る十一日京城商業會議所に於て臨時組合會を開き今後の販賣法其他に就て打合を爲す筈なるが出席者は二十五名位なるべしと

◎府及警察懇談會

京城府及び憲兵隊警察署長等の懇談會は六日午後一時より京城府に於て開會京城府井上事務官宮舘本町署長、松井鍾路署長、矢野龍山憲兵分隊長の外各署の警部巡査數名出席し夫々所管の事務に就て打合を行ひたるが頗る有益なるものありたるを以て今後每月を例會とし尙必要の場合は臨時に會合を催すことゝなり來月は本町署の當番として同署に例會を開くことに決定し四時散會せり

◎鮮內主要穀價

六月中に於ける鮮內主要穀價の各地平均額を見るに左の如し

▲玄米 上一石に就き十圓八十三錢六厘、中十圓四十九錢二厘、下十圓六錢八厘にして釜山最も高く群山、仁川、木浦、新義州之れに次ぎ平壤、京城最も安價なり ▲精米 上一石十三圓四十五錢、中十二圓九十七錢五厘、下十二圓三十二錢四厘にして清津は特等十五圓廿錢を告げ上等は京城の十四圓五十錢最も高く群山の十二圓四十錢最低也 ▲籾 上一石五圓卅八錢一厘、下四圓四十錢七厘にして仁川群山を最高とし京城新義州を最低とす ▲大麥 上一石三圓九十錢六厘、下三圓三十五錢七厘にして仁川、鎭南浦最も高く木浦は上二圓九十五錢、下二圓四十錢なり ▲小麥 上一石八圓十五錢七厘、下七圓二十九錢四厘にして最高の元山浦は上十圓、下九圓を告げ最低の鎭南浦は上七圓廿五錢、下六圓卅五錢也 ▲大豆 一石に就き上七圓二十四錢六厘、中六圓七十八錢六厘、下六圓五十六錢八厘にして元山最も高く上八圓を示し仁川、京城、群山等順次 ▲小豆 一石に就き上八圓八十三錢六厘、下八圓十四錢八厘にて仁川の九圓七十錢最も高く大邱は九圓五十錢、釜山九圓十錢 ▲荏胡麻子 並一石に就き八圓五十九錢七厘にして京城の十圓最も高く群山の九圓二十錢、大邱の八圓五十錢順次相次ぎ木浦は七圓五十錢にて最低なり

◎釜山檢米成績

慶尙南道米穀改良組合に於ける去る七月中の玄米檢查總額は日本種特等千三百四十二叺上格四千八十五叺下格三千八百七十八叺格外八十叺合計九千三百八十五叺在來種上千五百九十叺下四千九百卅七叺格外千百六十五叺合計七千百五十一叺にして總計一萬六千五百三十六叺なるが之を前月に比すれば四千九百卅四叺の增加を示せり而して右の中再調を命ぜられたるは日本種中下格にて百六十三叺格外にて八十叺計二百四十三叺在來種にて上二十六叺下格三百五叺格外九百十九叺合計千三百三十叺にして總計千五百七十叺に達せしが日本種は特等及び上格米多きに反し在來種は下格米最も多數を占め且つ調製も自然粗惡に流るゝの傾きあり殊に下格に至つては如何に精選するも到底上格とならざるもの多し斯は畢竟種子の不良なるが爲めにして之が改良を計るは刻下の急務なるが如し而して檢米增加の原因は漸く天候恢復せしと共に一面に於ては相場の上進に連れ荷動きありたるが爲めにして他に理由無きものゝ如し又大豆の檢查額は上格三百廿五叺下格六百七十六叺合計一千一叺にして前月に比し二百八十五叺の減少なるが斯は各地共品の拂底せしに外ならずと(釜山)

◎忠州輕鐵布設

去る六月翕然として社會を聳動したる中鮮橫斷輕鐵布設問題は內地及び在鮮企業家垂涎の焦點となり爾來三日前朝鮮輕鐵會社より京釜線鳥致院又は芙江驛より淸州忠州堤川を經て江原道辻陵に通ずる輕鐵布設の內意を齎し來りしかば忠州官民有志十四名某所に會合して鳩首凝議を遂げ輕鐵布設敷地の提供及び便宜を圖るべきことを提議し鳥致院又は芙江より忠州までを第一期線として布設すべきことを要求し三日某有力者より內諾の電報に接したるを以て正式の回答を俟ちて居住民大會を開き善後策につき協議をなす豫定なるが此噂の傳はるゝや市況俄かに活氣を呈し地價暴騰の氣配を示せり

◎船津軌道の解散

延期に延期を重ねし慶南船津晉州間の軌道は株の拂込み進捗せざるに依り四日を以て一先解散し元發起人と新たに東京大阪三千浦等の有力者數名加入し資本金二百萬圓を以て三千浦晉州居昌大邱居昌晉州間の輕鐵を出願せし由許可の上は東京大阪間にて株の募集をなす筈

◎船津繰棉不許可

豫て出願中なりし神戶鈴木商會の船津繰棉工場は現在の機械の能力生產より超過する時は機械數と生產の數量と對算する故本年は工場增設の必要を認めずとの理由にて本年は不認可となり明年は豫定の作反別一萬町步を實現の曉は先出願者として許可をなす由

◎昨今仁川市場概況

▲米 概して天候順調なりと雖も弱氣の如く移入多からず各手持筋はさして賣急ぐ氣色なく斯くて昨今は思込み比較的強きを懸念せる爲め一氣に買煽り殊に期米は安値よりも大に引締りたる見越物薄なる小米界も一層天候に捉れたる氣構へて商値を喚ぶ事迚市況は自然亂調たるを免れざる處にして出來値段も區々にして要するに斯界は強硬なるものゝ如し ▲大豆 不引合なる結果新規入荷甚少なるを以て多からざる在荷は何日しか減退し殊に漸く品切的引締りを見るに至れり就中豆腐向好適品なる龍山物の如き稀有の高價を現はせり而して當分は相場昇騰の見込なり ▲小豆 賣行依然捗々しからずと雖も北海產の小粒りに作ひ幾分、丈を呈し當用口の需要ありて現はれ安値ながらも漸次取組行はれ居れり ▲牛皮 氣迷へる斯界は一層其數を深くしたるものゝ如く製革商は原料買入れを見合はし乾皮商は自己の持品を捌くに專心苦慮し居る而已商值を唱へて成行物機の委なれば自然市場に於ては閑散にして幾分氣含みの成行を示し居れり

◎訂正 六日夕刊電報欄內「北支近情」の記事中松平奉天總領事とあるは松平天津總領事の誤りに付訂正す

元山

▲商議豫算却下 評議員會の議定を了し其筋に認可申請の爲め數日前府廳に提出したる元山商議豫算は諸檢查料徵收の件督促手數料其他五箇條に不備の點ありとなし一先づ府廳より却下せらるゝ事となれり右に就き商業會議所に於ては字句の詳細に過ぐるは却つて適用を缺ぐの弊害を釀す所以を述べ今回の修正は一應容認を陳したるまゝに經由申達方陳述中なりと ▲築港用浚渫船著 豫て大分縣より購入の後尾の道備後ドツク會社にて修繕中なりし元山土木局出張所築港用浚渫船金剛丸は愈々完成の上去る四日無事元山に著したるが船員の補充及び船體檢查を終るを俟ちて直ちに作業に就く筈 ▲稅務課長會議 全鮮稅關稅務課長會議は來る九月十一日より同十五日の五日間に亙り元山に於て開催すべく決定せる模樣なり ▲分隊長歸省 高瀨元山憲兵分隊長は暑中休暇中墓參の爲め約三週間の豫定にて四日郵里編岡驛に向け出發 ▲稅關長歸省 矢鍋元山稅關長は來る十日頃出發賜暇歸省の筈なるが今回の豫定は約二週間なりと

春川

▲椎茸栽培著手 椎茸栽培は江原道唯一の獎勵事業に屬し目下各郡に對し之れが栽培を獎勵中なるが今回春川郡に於て淺原谷南氏踏查の結果春川郡北山外面水山里に比較的有望なる個所を發見し面積約四十町步の山林拂下を出願し昨今實地檢查を受けつゝあるを以て認可の上は直に現場へ乘込み初年度母木伐採に著手する筈なり因に該地は春川を距る約七里水陸交通の便に富み加之母木豐富なるを以て栽培の方法を大過せざる限り有望なりと ▲移輸出物好況 春川郡は地方の發展に伴ひ逐年移輸出物增進の好況なるが今大正四年度主なる物產を計上すれば小作籾五千五百石價格二萬六千五百圓大豆三千石一萬八千圓繭六百石一萬五千圓等にて前年度に比し三割強の增進なり

仁川

▲瓦斯認可期 豫て其筋に對し認可申請中の仁川瓦斯株式會社創立の件は總督府に於て大體の調查終了したる趣にて本月末迄には認可あるべしとの事なり ▲東京高商生來仁 東京高等商業學校專攻部生徒村瀨新一郞氏は朝鮮見學の途次六日來仁し市中に於ける商業の概況、鐵道、精米各業の工場等を視察し商業會議所に和田書記長を訪ひ七日朝京城に向へり ▲仁川會 仁川に緣故を有し目下京城に在住中の官民組織に係る同會員の石塚長官宮舘署長其他官吏銀行會社員商人新聞記者等多數は七日午前來仁し夕景迄舟遊或は海水浴等を試み午後六時より仁川奧田貞次郞氏加來榮太郞其他二三知名の氏と八阪樓に晚餐會を催ふし盛會なりし ▲仁川署の飲料檢查 追々夏期に向ひ市內に各種の清涼飲料水を販賣せる者多く隨つて之等取締勵行の爲め松元仁川署長は部下を督勵し嚴重に之が檢查を行はしめ不正物販賣者は容赦なく之を檢擧し押收品は小林藥劑師擔任分析試驗を行ふべく時節柄最も緊要なる事といふべし ▲學校組合會議 仁川學校組合會議を十一日頃仁川商業會議所內に開會し一、寄附金品採納の件一、組合舍宅給與規程變更の件、一、授業料徵收規程改正の件、一、組合家屋貸付に關する件一、組合規約改正の件一、五年度追加豫算一、會計檢查委員改選に關する件等を議し尙會計檢查委員報告四年度決算及び會計檢查委員報告の件を報告すべし

晉州

▲市場の移轉期 當地の大問題たりし市場移轉も愈々協定終了せしが近々移轉斷行の筈 ▲棉作不良 本年陸地棉の作付田別は六千五百町步に達し收穫豫想も三百萬斤以上に達する見込なりしも降雨の爲め發育面白からず隨て豫想額に達せず約七分作位の見込なり ▲芳賀院長來晉 芳賀總督府醫院長は三日三千浦より自動車にて來晉し午後三時より公立學校にて有志數名に對し衛生講話をなせり同氏は本日自動車にて三千浦に向ひ出發せり因に佐々木道長官及び官民有志は同院長を晉州俱樂部に招待し盛大なる歡迎會を催したり

人事消息

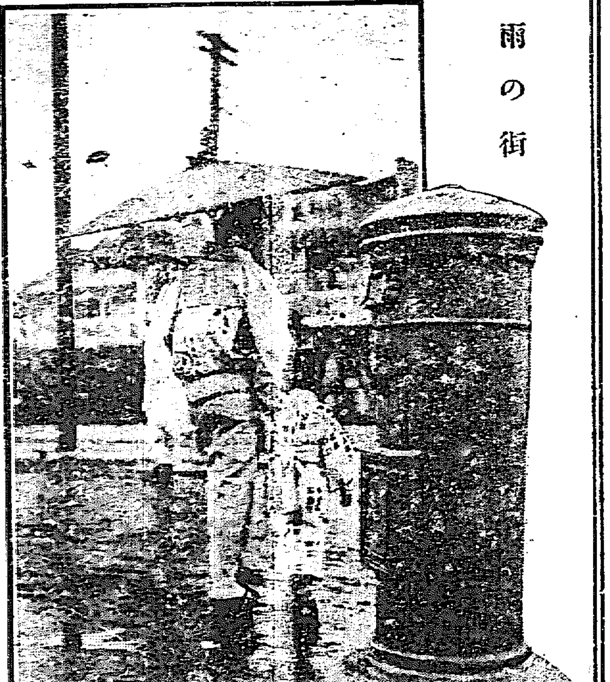
▲桑田秀延氏(東洋拓殖會社員) 七日朝入京朝鮮ホテルへ
▲平野政敏氏(久原鑛業會社員) 入京中の處七日朝退京
▲石井閣次氏(東京帝國大學醫科副手) 七日夜仁川より歸京山本旅館へ
▲柴浦彪義氏(公州地方法院檢事正) 六日夜入京不知火へ
▲マーシャル夫人及び令孃 ▲ハオテー鑛師夫人 ▲ヨーク孃 ▲クロンデル夫人 ▲アーレス夫人(以上米人) 六日夜入京朝鮮ホテルへ
▲國枝博氏(土木局技師) 八日大邱へ出張
▲朝倉外茂鐵氏(辯護士) 大邱より歸京
▲大原龍夫氏(鮮銀監査役) 七日午後七時五十分南大門發東上
▲片山藤氏(上海東亞同文書院教授) 入京中の處七日夜退京の筈
▲ヤング氏及び令孃(米人) 七日朝入京朝鮮ホテルへ
▲指宿武吉氏(慶南道技師) 米穀監査事務視察の爲め五日下仁六日入京

□團扇と雨蛙　崖城

○
鬼を出す雲も湧けり枝蛙
團扇取る手元に汗の流れけり
打つ團扇に子犬の狂ふ涼かな
牛をひく手に力あり雨蛙

⊙　一夕庵九分
風に舞ふ團扇にさわぐ乙女かな
取的の力をきそふ團扇かな
雨蛙次で風あり樓に滿つ
溫泉の宿や又一しきり枝蛙

□鎌島にて
一線居士へ
車井戶の軋る音果樹の茂り　井平
林檎林は蟬時雨暫し乾す汗　苦醉
春伸ぶ手に尿ひつて果園蟬飛ぶ　[illegible]天
大堀翁へ
遠山に雲湧くや農場窓涼し　[illegible]天
移民村に胡藤白楊茂りけり　苦醉
腐果に積みるに蟬の澀まじる　井平



雨の街

御慶事を待ち焦れ給ふ

李太王殿下のお悦び＝李完用伯談

王世子殿下梨本宮女王殿下との御婚約勅許の報が傳つてから予は一日も早く公式の御通知を聞き度いと待つて居つた處、果然六日山縣政務總監から昌德宮德壽宮の兩殿下に對し王世子

◇御婚約勅許の御達しが有つたと承り欣快措く能はず時を移さず昌德宮に伺候し賀詞を申述べんとしたるも生憎く李王殿下には二三日來御不快にて御引籠りの由に就き其の儘德壽宮に參向し李太王殿下に謁見賀詞を申上げたる處太王殿下には殊の外に御悅びの樣子にて滿面に笑みを湛へられて語らるゝ樣王世子は幼年の折りから內地で成長し內地で

◇進歩したる新教育を受けて居るから假令其の配偶者を朝鮮に求めても現在の朝鮮の婦女の間から世子の配として恥かしからぬほどの婦女子を求める事は到底不可能である其の上世子の妃としては古來から門閥に重きを措き其の取捨選擇に關して却々六箇敷い問題である然るに今回神の御裔として萬世一系の鞏き日本の皇室と縁組を爲る事に成つたのは

◇誠に李王家に取り又世子に取りまた朝鮮全國の爲めに此の上なく悅ばしい事であると語られた、太王は內地の一般結婚年齡は何歲位なりやとの御下問ありしに付き予は內地は一般に男子二十五六歲から三十歲前後女子は十八九歲より二十五六歲までの間に多く結婚し朝鮮の早婚の風とは大いに異る處ありと御答へしたるに太王は重ねて皇室又は皇族の間に於ても然るやとの御詰ねあり予は

◇皇室並に皇族の間に於かせられても又其の通りである旨を御答へしたるに太王は最とも待ち詫び給ふ面持にて然は云へ世子は既に成年に達して居る故來春の上一日も早く式を擧げ、王世子の妃として對顏したしと殊の外御慶事の日を樂しみ且つ待ち焦がれ居らるゝ御樣子御道理と存じ重ねて御賀詞を申し述べて退出した

宗社黨首領狙擊さる

六日午後十時三十分長春驛發列車の將に發車せんとする際一等室中の宗社黨首領升允氏は車窓外より支那密偵らしき者に狙擊されたり彈丸は腹部足部に命中し仲々の重傷にて直ちに滿鐵病院に入院加療中なるが加害者は混雜に紛れ逃走し未だ縛に就かず同列車には藤井司令官其他の隊長及び西の海等同乘せしが幸にして無事なるを得たり當日は恰も長春を打揚げ大連に向ふべき東京大相撲一行出發の際とて見送人二百餘名に上り頗る混雜を極めたり（長春特電）

搜索の手掛は一通の書面

帝國大學生一行の行衞

東京帝國大學生五名が山梨縣黑子嶽探險中行衞不明となりたるは既報の如くなるが右に就き山梨警察部にては東山梨郡三富村役場に通知し同村青年團員を召集し搜索方を依賴し日下部署長は六日早朝警部及び巡查數名を隨へ搜查の爲め黑子嶽に向ふ途中字天科と稱する山林內に至りたるに一人の人夫が三富巡查駐在所に宛て一通の書面を携帶し來れるに出遇ひたれば之を開封したるに一行中の一人なる東京市下谷區中初音町中村健次郎三男工科大學々生中村幸三（二三）が六日午後一時頃唯一人呼吸も絕へ〳〵に天科の一軒小屋廣瀬製板工場に這ひ込み來り微かに救助を求めたる儘人事不省に陷りたりとの通知なりしかば日下部署長等は此處に搜索の手掛りを待て直ちに同方面に急行したるが學生一行の踏み迷ひたるは確かに黑子嶽にして一行中中村のみ無事なるを見れば他の四名は何處にか行倒れ居るものと想像さる（東京特電）

三人殺し犯人自殺を遂ぐ

京城旭町二丁目居住原籍熊本市新町字府山生れの洋服職重永順平（三七）が六月二十五日午後三時頃隣家の餅屋伊平夫妻等三人を殺傷したる事件は京城に於ける近來の慘劇として一時世間の耳目を聳動せしめたるが其後順平は西大門監獄鍾路拘置監に收容せられ目下豫審中に屬し同拘置監第九號獨房に獨居中なりしが八月六日午前七時頃手錠を以て房內に垂しある電燈の傘を叩き破りて小刀の如く拵へ其の一部にハンカチーフを捲つけたる上鋭利なる尖端にて前頭部を刺して頸動脈を切斷せんとしたるも及ばず更に在合せたる塵埃叩きの柄を其創口に突き込みたる上我と我が頭部を鐵窓に滅多打に打ちつけて慘死を遂げたり屍體は檢視の上內地の妻長瀬たつが同日夕刻引取りたり

熱田丸浮揚る

去る一日朝瀬戶內海長瀬戶大下島北端に於て擱坐せる日本郵船會社船熱田丸八千噸は與卸效を奏し六日無事浮揚せり（大阪電話）

變裝賊の豪遊

岐阜縣岐阜市下竹町生れ桑原芳次郎（二〇）は本年一月中詐欺取財に依り平壤地方法院にて懲役三箇月の處分を受け出獄後平壤府券番町深田雜貨店に雇はれ中六月二十八日夜家人の隙を窺ひ現金七圓を竊取し之れを旅費として京城に逃げ來り北米倉町の旅館郭順色方に泊り込同夜同宿人なる白南享の洋服のポケットの中より現金九十一圓餘及び銀側懷中時計一個（五圓）を竊取し朝鮮人用の周衣を纏ひ巧みに姿を晦まし七月二十日頃迄に市內外數箇所の內鮮人宿屋を轉宿し廻りて現金衣類帽子等手當りに竊み出し品物は各町の質屋に入質したる上新町遊廓にて豪遊し居れる所を本町署の刑事に取押へられたり

盛なりし仁川會

京城の仁川會員三十餘名は豫報の通り六日午前十時扭峴著にて來仁稻田、加藤兩氏外有志の出迎を受け直ちに轎を連ねて八阪樓に入り打寛ぎて歡談の[illegible]に仁川[illegible]有志數十名も加はりて晩餐を共にし舊交を溫め和氣靄々として愉快なる一同散を[illegible]にて歸京せり因に今秋仁川側より有志を糾合して上京し京城の仁川會員と一堂に會し交歡する事に衆議一決し與田會頭より幹事として鮮銀支店長、大石商議員、尾西銅[illegible]支配人、今井本支局長の五名を指名ありたり

知人の宅を襲ふ

神戶市[illegible]町二丁目生れ帽子洗濯業梅木德兵衛（三九）は一定の住所もなく京城市中を徘徊し七月十四日夜知人なる南米倉町飯野某方へ赴きたる際家人の不在なるを見澄まし忍び入りて柳行李より衣類六點下駄一足外雜品數點（三十七圓）及び現金二十圓を竊取して入質し小き雜品は便所に投棄したる上仁川へ逃走し更に水原地方へ立廻り居れる所を本町警察署の刑事に探知せられ遂に引致され取調べの上檢事局へ送らる

肋骨を蹴る

京城[illegible]花職工李敬露（二四）は七月二十八日午後八時頃泥醉して永樂町二丁目大果社に至り知人なる同社の雇人李順賢を相手に喧嘩をなしたるより居合せたる川端某が之れを制止したるに却つて食つて懸り格鬪を初め敬露は川端の左胸部肋骨を強か蹴りて治療十日を要する打撲傷を負はせたる上逃げ去りたるが傷害罪として告訴せられ敬露は本町署に引致され取調べの上檢事局へ送らる

盗んで返却

京城[illegible]住吉樂隊樂手權光植（二[illegible]）は[illegible]なる富崎きみの奉公先きなる本町[illegible]方に[illegible]本年四月三日同家の同居人小果の洋服一着外數點（十二圓餘）を竊取し[illegible]之を返却せんと數日の後[illegible]他は風呂敷に包みのみを手許に置き去りたるも良心に耻ぢ[illegible]同家の[illegible]上に置き去りたるが此の[illegible]何者にか竊取されたる所より舊惡を發見され本町署に引致されたり

□京城の郊外趣味　夏の纛島（一）

△模範場と東拓農場▽

柳並木を出て往十里の停車場に出れば其處には馬車も人力車も在つて郊外の氣分は既に此あたりから溢れる漢江の水が頭日からの小降りで濁つた彼方此方手綱を摘へたりした連中の影も見ね、水源地の斷煙淡く

◇眞青な空にたゞよふ遠望を背にして柳の木不蔭に行廚を開いたりしてる家族連れの姿もある然し纛島の郊外趣味は模範場と東拓農場に鍾つてゐる柏楊、胡藤の繁りに取り圍まれた一圓の農場は土の色から黑々として埃と塵との目に慣れた京城人士には正に別世界の觀が湧く此頃の日曜日をジリ〳〵と

◇燬けつく街裡に蟄居するよりも流るゝ汗を綠野から湧く凉風に乾かし乍ら一日の郊外生活を過すに家族連れの散策者が鮮くない。模範場の構內には西洋桐や胡藤の枝を張つた木下蔭にベンチを備へて園藝來觀の客に備へ客あれば麥茶を供する位の郊外的接待もする木下蔭からはダリヤ、カンナの

◇百花繚爛として日照草の裝飾植付も太陽に映ねてゐる＝けれども勿論是れは模範場の眞髓ではない言ふ迄もなく其特色は果樹園と蔬菜園にある林檎、梨を主として桃葡萄を次とし蔬菜も寧ろ果樹に首席を讓つてゐる『四月から十一月迄は百姓の働き時で日曜も休日もありやしない』と久次米場長が言ふ樣に、まだ

◇青く固い果實累々として裝蔭に生の充實を計つてゐる林檎梨は久次米さんにとつては恰然年頃の娘でも自慢する樣に『此林檎は是れで千位實つてゐますよ、枝を撓らして燃ぢて置くと非常に實りがよく成つて……』と頻りに自慢するのを見ると蒼白い煙蒸藥を被つて心持日に焦げた果が夥だしく

◇梢の葉蔭には喧しく蟬が鳴立てゝゐる。昨日今日の果樹園はまだ準備時代で收穫時を待つてゐるが秋も九月の央となれば先づ葡萄の紫が葉裏に笑み十月に入ると梨と林檎が一時に芳烈な香を放つて色も鮮やかに枝を撓らせる昨年は丁度共進會が開かれてたので特に

◇參觀人も多かつたがそれでなくても季節に成ると京城からのお客で每日追はれる樣な忙しさとなる一番賑やかな頃だと一日に七八十位のお客があつて其れ等の殆んど總てが一人宛が二三十錢位の小籠を手にして歸るので一日に尠くも三十圓位の收入に成る『別に商賣ぢやないのだから特に儲けなくてもいゝので餘り

◇市場には出さず買ひに來る者に賣る丈けに止めてゐるが併し成る可く多くの人に作物を配り度いのだから多人數の參觀が欲しい』と云ふ久次米場長の日にやけた顏が元氣らしく輝やいてゐる別に賣出しはしないが其れでも昨年あたり數十箱の林檎と梨が京城市中に出た大抵は

◇朝鮮人が三四圓位宛買ひに來ては擔軍に乘せて地方に賣りに出る一個に就て二三厘宛の利を得て賣り步く朝鮮人に較べると日本人はどうも狡猾でいけないと云ふ模範場から買ふ時にもスグに組んで安値を安値をとズル〳〵まわり市中に出す時にも一錢の林檎を二錢にも二錢五厘にもする迷惑なのは市中の需用者だ——と久次米さんは苦笑する（つゞく）

暗黑の幕に包れた　土木請負（三）

愚にもつかぬ風說　朝鮮には舊式の談合

談合金事件が突發して以來之に附隨して樣々の流言蜚語が行はれた殊に甚だしいのは鐵道局と請負業者間の談合は每度の事にて長官まで此の仲間と連絡を付けて居ると云ふが如き

◇愚にもつかぬ噂さへ傳へたものがあつたが之れ等は無稽取るに足らざる說であつて實際に於ては同業者間に於ても談合なるものは容易に擺らぬものである何故かと云ふに入札に睹けられたる工事に對し指名者の悉くが其の工事の請負を希望して居る場合の如きは殆ど談合

◇妥協の餘地はない談合の多く成立する場合は其の工事に就て指名者中に請負を希望する者と希望せざる事情の者ある場合に多く成立するものであるが之れとても五人なり十人なりの全部の意識が一致し其內に一人の不同意者が無いと云ふ場合にのみ成立ものであるから到底

◇[illegible]も抱込んで工事[illegible]

◇此種の談合は殆ど工事每に[illegible]ない今回の事件に關係して居る人達には新らしく指名入札の仲間に這入つて居る者もあるが之等は郷に入らば郷に從への譬への通り朝鮮で請負業を營んで行くには矢張り朝鮮式に談合金の

◇大盤振舞を爲なければ土木業者として立つて行けないが故に止むを得ず第一回の請負工事である損益計算を度外に置いて比較的多額の談合金を配當したものである[illegible]が恥し之れ丈けの談合金を工事の純利益金の內から

◇見越して支出するといふものは官廳の工事設計豫算といふものは隨分澤山な餘裕を存して居る樣にも考へられるがそれは眞の素人考へであつて建築工事などは別として鐵道工事の如きは同業者の目から見ても十萬圓の仕事と十五萬圓の仕事とは殆ど仕上を見たばかりでは

◇區別が付かぬ位である況や十二萬圓の工事中で二萬三萬の差は少しも分るものではない之れ土木工事を請負はしむるに當つて該請負業者の德義を重ずる人なりや否やに付き充分に考查を要する所以である、元來內地の請負者には相當の敎育を受けた者が多い隨つて

◇斯んな事件は滅多に無い朝鮮でも十萬圓以上の仕事を仕るには一人の工學士を用ひなければならぬ事に成つて居るがこれが殆ど形式一片で此の使用人の工學士なる者は其の內部に於ては聊かも其の意志を尊重されて居らぬ斯樣な狀態にあるから今も朝鮮には

◇舊式の談合が行はれて居るのと一つは此の種事件の結果の前例を見るに何れも談合請負業者の爲めに有利なる結果を告げて居るから何時に成つても談合事件が屛息する時は無いといふ有樣に成つて居る第一朝鮮には土木請負業者の數が甚だ多過ぎると思ふ

臺灣の腸窒扶斯

本年は臺灣全島管內に亙り例年に見るべか[illegible]すれは實に約二百二十名の增加を示し居る狀態にして今日に於ても其傾向は[illegible]街の分を見れば初發以來去月卅一日迄の累計二百七十名に達し之を昨年[illegible]如く本年も五月の發生狀況は極めて猖獗なりしも六月に入り[illegible]實を認められたるに見て本年の普遍的なる患者の分布は異に特殊なる現[illegible]せる即ち十八名の死亡者を出せり以上に依つて未だ何等猖獗期を脫せざ[illegible]

▲警文　風強かるべし▲低氣壓位置　全羅北道▲氣壓示度　七百五十一粍▲進行方向　東▲記事[illegible]

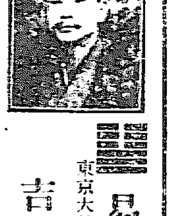
天氣　曇但少雨　▲八月八日（七日午後[illegible]）

[illegible]

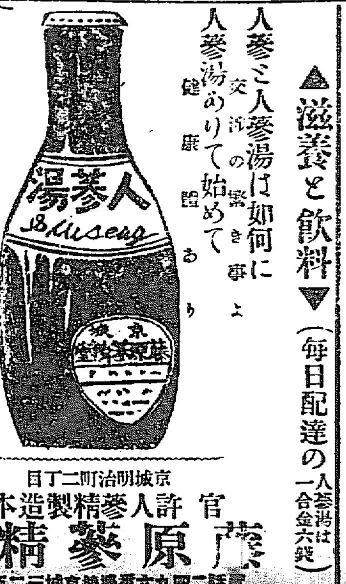
移轉廣告
八月五日より左に移轉仕候
仁川府本町四丁目八番地（元田造酒所跡）
野口商會　電話一七三番

新刊　尺八音譜
▲音譜解說　三十錢
▲夏の曲　二十錢
▲雪　十五錢
▲俗曲集上編中編　各四十錢
大阪[illegible]　合名會社　前川

熱心誠實に事務を取扱ふ
辯護士　從五位　堀池常作
事務所　大邱府南龍岡町


易界の名士
東京大日本陰陽學會々長
吉田學明來る
○前途の方針に煩悶する人○病難に苦悶の人○鬪性の結婚に苦む人○自己の本能を研究せんとする人○逆に來て余の快刀亂麻の活斷を享け去り開明就の光明を認められん事を（鑑定料は五十錢當日易斷は壹圓）
鑑定期間　自八月六日至八月十五日
鑑定時間　午前九時より午後十時まで
京城壽町二丁目（電話千百十五番）原金旅館に於て

▲滋養と飲料▼（毎日配達の人蔘湯は一合金六錢）
人蔘と人蔘湯は如何に交涉の緊き事よ
人蔘湯ありて始めて健康臨あり



御注意
人蔘湯中に含有せる甘味は世に有觸れたる砂糖若しくは飴等を混入したるものにあらずして弊堂獨得の最も進步したる科學的製出法に依て植物性より採取したる理想的のものなり
高麗人蔘精　價　十五入 八〇　二十五入 一、五〇　三十五入 二、〇〇　四十五入 二、五〇
京城明治町二丁目
官許　人蔘精製造本舖　廣原蔘精堂
電話二四九六番　振替京城二三五三番

大阪株式取引所
仲買人　吉野屋商店　大塚善助
營業所　大阪市東區今橋二丁目（取引所東橫手南入）
電話本局（長距離二〇一三番）[illegible]
公債　株式　定期　現物　問屋

官許　飲料氷
弊社貯藏氷は嚴寒の候大同江上流に於て採取せしものにして厚さ一尺三寸以上解氷の虞なし地方送品に最適當なり目下在庫品三十五萬貫あり
八月十日迄特に勉强し左の値段にて販賣す
平壤渡拾貫に付　金五十錢
平壤櫻町三番地
三榮社氷販賣所　電話[illegible]

●「君が代」作曲者逝く

□愛する日本の勳三等旭日章を佩びて

□昨紙に記した『君が代』の作曲者フランツ、エッケルト翁は愈よ六日午後九時半南山の自邸に死んだ

□七日朝南山山麓の黄昏谷にマチルダ老婦人を訪へば涙に打ち濕りたる家には神戸から馳せ付けた翁の子息も泣いて居た

□故郷獨逸のシレジヤを見捨てて飽くまでも日本及び日本人を愛した此の世界的音樂家は臨終に日本の勳三等の旭日章を佩びて死んだ

□未亡人は涙に打ちしめりたる面をあげて云ふ

『故人は明治十二年以來日本に棲つて居ました其の間一度獨逸に歸つた事もありましたが第二の故郷たる日本の山河を忘れかねて再び引返して參つたのでございます

□妾共の愛する日本と妾共の祖國とは不幸干戈相見ゆることゝなりましたが雅量ある日本の人々は敵國人たる私共を相變らず愛して下さいます

□殊に昨日の京城日報には主人のことを載せていたゞき敵國人を待つ日本人の雅量を感謝して居ります

□主人は平素音樂以外にこれと申す趣味も有ちませぬが唯だ日本の國歌『君が代』と英照皇太后御崩御の時の『哀の極』の作曲が日本全國にうたはれたことを無上の幸榮といたして居りました

□曾て先帝陛下御大葬に當りましては主人は南山の此の邸に閉ぢ籠りまして終日ピアノに『哀の極』を彈奏して居りました

□葬式は八日午前八時明治町佛蘭西教會堂で行びます……』と

□猶ほエッケルト翁は獨帝から鐵十字章の名譽ある勳章を授けられたが臨終には唯だ旭日章のみかけて死んだ

□翁は一千八百五十二年の春四月獨逸ゼルマンのシレジヤに生れ、王立音樂學校でヴヰオリンを修めたが特に作曲の麒麟兒として幾くもなく王宮の雅樂頭を命じられた

□明治十一年獨乙皇室の撰抜を受けて遙々日本に渡り海軍々樂隊の養成の傍ら熱心に日本音樂を研究し遂には彼の雄大莊嚴なる『君が代』の作曲に當つたのである

□翁は明治三十五年以來韓國政府の招聘を受けて今春まで李王職音樂隊の養成に努たが不幸敵國人たるの故を以て契約期間限り解傭された

□兎に角京城の地がかゝる隱れたる世界的音樂家を有し且つきたその墓を有つといふことは因縁深きことと云はねばならぬ

□大奈翁は曾てウキーンを攻圍中獨逸國歌の作曲者たるハイドンの死を葬つた

□不幸今や日本は獨逸と敵味方に分れたけれ共此の隱れたる『君が代』の作曲者を弔つてやりたいものである

□因に『君が代』の曲譜最初の原稿は今猶翁の家に保存されてあると

佛蘭西國歌『マルセーズ』を高唱するルウジエ、ド、リスルー（ピルス畫）

番茶のあとさき

世界列強の國歌は英の『ゴッド、セーブ、ザ、キング』が一番古い△其の後獨逸、丁抹、瑞西の諸國は英國々歌の曲そのまゝを頂戴した△併し英の國歌は誰れが作つたか今以て判らぬ△佛蘭西の國歌『マルセイズ』は奈翁の部下に居た砲兵士官のルウジエ、ド、リエルが作つたが△始のマルセーズの軍隊が此の歌を高唱しつゝ巴里に入城したのに始まる――それに佛蘭西革命の當時であつた△また獨逸の國歌『神よ我がカイザアを幸せよ』は墺のバシカが歌詞を作りそれをハイドンが作曲したものだ相な

日本全國の時間の統一

△東京麻布の天文臺から電流で知らせる▽

◇東京麻布の天文臺を源泉としてゐる電流時報は時間の正確を貴ぶ官衙停車場その他に取つて缺くべからざる事で今では朝鮮から臺灣大連あたりまで接續されてゐる

◇天文臺からは直接に江戸橋の中央電信局へ通知する同局では十二時五分前から如何に急を要する電報をも止めて天文臺から來る時報の電流を繼いで置く

◇そして各地へ電流を送るのであるが電鈴が鳴るのは丁度にその間であるかくて正十二時になると共に電流を止めると同時に鈴も止る東京ではそれと同時に午砲が響くのである

◇この電流の朝鮮方面へ行くものは門司と長崎とで引繼ぎ臺灣沖繩方面へは鹿兒島で引繼ぐ

◇故に電流の設備さへあれば縱令航行中の船でも東京の十二時が分るのであるから各船舶と布哇との無線電信局の通信に關して目下試驗中だといふ

◇若しこれが好成績を得るに至れば可成り遠距離に在る航海中の船舶に取つては非常に便利な事になりそして日本の版圖處到時間が統一される事になるのである

婦人界消息

△木本光子（朝鮮電氣會社取締役夫人）數日前より別府溫泉へ避暑されました滯在日數は約四十日間の豫定

△秋山たか子（秋山京城郵便局長夫人）[illegible]へ赴かれることとなりました

●內山通譯官拜堂葬儀

[illegible]

●高知縣人會

[illegible]

●木浦昨今の釣魚

△木浦の釣魚は昨今なか〳〵の好成績で[illegible]

商況

東京株式特電

[illegible]

債券現物特電

[illegible]

公債直取引

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

●金物類好調

▲浪平板一躍十錢高

▲更に各五錢方を引締

▲洋鐵類

▲又々荷動き鈍狀

▲鉞力板に一二

模樣

[illegible]

●綿糸新高値

●思惑買鋭し

●セメントの其後

十錢乃至一圓高

各限共に九

亞鉛線禁輸の影響

下關相場

京城正米

南大門の廻穀

仁川現物市場

釜山市場

仁川期米

▲七日前場

大阪天候[illegible]天

二節十一錢の移

十一錢高の入電

騰

多く更に四十五錢を沸

市場零聞

▲更に新高値

新高値に沸騰

一段の高値現出

▲前場の手振

▲人氣動搖す

搖動機

▲巨筋利喰賣

④筋能く賣る

▲今筋の買退き

▲市場殷賑

立會毎に大盛況

▲格付發表す

▲增證納入

▲同格以上不合格

下

▲期米目先觀

天候の不良正米界の好況

代用として充分引合ふ

今後日本米を

程度迄は漸次人氣の

沸騰

人氣の消長

仁川米豆

七日の十円

前場寄付

[illegible]

賣買取組高

[illegible]

北濱だより

[illegible]

●暴風警報

（八月七日午前九時三十分發）

[illegible]

演藝案內

櫻井町　大正館

電話八七三

壽座

京城壽町　電話五七八番

大寫眞

黄金館

電話一八五二（階上）二六三七（階下）

八月三日より納涼特別大興行

浪花館

開城座

歌舞伎座

質

京城黄金町二丁目　永樂町（停留所北入）

堀佐營業所

（電話六三九番）

特約店　京城南大門通二　新井藥房

著しく胃を爽快にする

强胃消化錠　マーゲン

島田藥學博士鑑査

大阪上本町五田畑保藥房

東京製鞄　旅行用具一切

雨合羽色々

ゴム引マント

防水布外套マント色々

魔法瓶中瓶替取

洋傘

卸小賣　高木商店

京城本町一丁目電話一一三四四

櫻麥酒抽籤發表番號訂正廣告

六日朝刊京日紙上發表の櫻麥酒景品附抽籤番號左記の通り誤りに付訂正仕候

	誤	正
甲種		
六等	二、三六七	二、三六一
乙種		
三等	一〇、三一四	一〇、三一六
四等	九、五一一	九、五九一
五等	五、四四五	五、五四五
五等	六、七四一	六、七六一

左記番號は同紙上脱漏に付追加す

乙種五等

一、六四五

一一、四五　三、一五八

朝鮮京城南大門通二丁目

合名會社鈴木商店京城出張所

電話二九二四番

中元御贈答用好適品

御大典記念飲料

コローナ

三平鑛水　矢サイダー　發賣元

帝國鑛泉株式會社

興味深き今後の米界

去月下旬に入りて俄然昂騰に趨じたる米界が本月に入りて又々漸落の足取りとなりたるは方に海上期相場の實現にして誠に天候の如何に依りて強弱孰れかを卜するに足る、然るに今後の天候は如何本年に於ける梅雨期の最も好順なりしは近年稀に見る所なりと雖も土用に入りての不順なるも又甚だ珍現象なりといへり、惟ふに今後の米界も又其の天候の如く波瀾起伏近年最も珍らしき市况を現出すべし

七月中弊店の賣買出來高は實に七十四萬三百石にして實に第二位たり是れ顧客諸彦の厚き御同情に由る事と感銘に堪へず弊店は益々是れに嘉貨せざるべく努力せんと欲す請ふ倍前の眷愛を賜へ

曾我一郎商店

宮本武藏

第百二十二回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

お雪左門の姉弟が五助といふ仲間を連れて東海道を下つて來て興津の宿まで參りました、然るに左門何分にまだ十六歳の少年でございますから旅の疲勞が出たと見へて不圖床に就きましたのが病付き、ドツと重くなつて大熱病、お雪の驚きは一通りでない醫者を招んで診察して貰ふと熱が心に縮んで居るから當分歩行いては不可ない、二月三月悠然臥て居て養生をしなくては駄目だといふ、お雪も一生懸命介抱いたしましたから一時は什麽なるかと思つた熱も退き、漸々薄粥位咽喉へ通るやうになりましたが仲々出立は思ひも寄られぬ二月ばかり旅籠屋に逗留して居ります、其中に貯への金も追々少くなり姉弟氣が氣ではないが據ない　左『お姉樣、大分氣分も快くなりました、此分では二三日經過しましたら出立が出來さうでございます　雪『まア爾んな事は言はずにモウ少し養生しなければ不可ません、お醫者樣もせめて三月位は大事にして歩行かないやうにしなければいけないと仰しやつたから　左『ソレでも餘り永くなりますと左右する中に金子も盡きますから一時も早く出立をしなければ相成りません、考へますと愁うして臥つては居られません位ゐ　雪『ソレでも病氣は無理をしてはなりません、若し此上重くでもなると困るのは妾ばかり

お金子の事なぞは心配せずに悠然養生して下さい、ソレは其うとお藥を取りに遣らなければならない、五助や　五『ヘイ　雪『アノ御苦勞だがお藥を取りに往つて下さい　五『ヘイ畏まりました直ぐ往つて參ります』と仲間の五助が飛出して伊東玄朴といふ醫者の所へ遣つて來る、途中五助が考へた　五『ア、馬鹿々々しい此方達は一期半期の奉公人だ不實をすりやア挨くに暇を貰つて他家へ往つて了ふんだ、まアお孃樣や若旦那樣がお氣の毒だと思ふから供をして來たんだが、給金だつて此頃ぢやア都度々々呉れず、若旦那は病氣になる此頃ぢやア醫者の走り使ひから病人の介抱落付いて寢た事はねへ、酷い目に遇ふもんだ好な酒も一杯飲む事は出來ねへ、馬鹿々々しい話だ、今日は一つ酒の一杯も飲みて行へものだ』と獨言を言ひ乍らブラ〳〵歩いて來ると後ろから　〇『コレ五助待て、コレ待てと申すに』と聲を懸ける者がある五助驚ろいて振返つて見ると編笠に面を隱し、立派な扮裝をした一人の武士だ　五『ヘイ貴所は誰方で　〇『貴樣は岡崎の仲間五助ではないか　五『左樣でございますが能く御存じで　〇『拙者の聲が分らんか　五『ヘエ誰方樣でございますか薩張り分りませんが、爾う仰しやればお聞申したやうなお聲で

五『アハヽ、聞た事もあるだらう、同藩中の長束傳八郎だ』編笠を取つた武士の面、フッと驚いた五助が　五『ア、貴所は長束さん………　傳『主人の敵と名乘り懸け、一刀の柄へ手を懸けるといふ所だが五助貴樣ぢやア話にならんな、什麽した其後は　五『ヘイ………　傳『顫へるなよ、貴樣なんぞ殺す氣遣ひはないから安心しろ、岡崎の倅左門娘お雪の供をして敵討に出立などゝいふと貴樣は大した忠義者だな　五『ウヘイ　傳『けれども其の左門が病氣になつて醫者の走り使ひやら病人の介抱、夜の目も碌々眠られず好な酒も一杯飲めんといつて愚痴を零す所を見ると餘り忠義でもないな　五『ヘエ御聞になりましたか　傳『皆んな聞いて了つた　五『ヘエ什麽ぞ御勘辨を願ひます　傳『アハヽ、可笑しな奴だ、御勘辨も何も要らんではないか、貴樣を殺すといふ譯ではなし少し話をしたい事があるから呼止めたのだ、其に大層貴樣酒が好きだな丁度晝飯時だから鰻でも食はうではないか　五『イエ什麽いたしまして　傳『まア可いではないか、左門には敵でも貴樣には何でもない赤の他人だ殊に在國中は度々貴樣の屋敷へも往つて顔馴染だ、久しぶりで一杯貴樣に飲まして遣ろ、サア一緒に來なさい』と手を捉まつて放さない、五助も元より酒は大好物、ついフラ〳〵と附隨いて鰻屋へ這入つたが、茲で傳八郎五助に一つの計略を授けるといふ一條。

外科一般　皮膚科、淺尿器科　花柳病科
院長　安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院　電話四一九番

內科小兒科　外科　產婦人科
各科分擔
京城本町三丁目
今村醫院　電話一八三一
診察午前九時より午後九時まで

八月九日九星
舊七月十一日戊寅
本命七赤西破大安
▲七赤　安からざる事ども多き日　新事見合南方は吉
▲八白　幸福の日轉居入門旅行
▲九紫　何事も吉一切のかけ引を慎ず
▲一白　大笑の日轉居開業
▲二黒　財益の日轉居旅行事普吉女子の獨立自營を計るに好也　待人來る
▲三碧　辨爾の起る日落付て新事手控　商事開業は妨なし
▲四緑　平運の日午前不印午後は吉新事手控　商事取引は用心の事
▲五黄　顧客の日轉居旅行入學
▲六白　家氣乱るゝ日轉居入學就職　建築水旅婚姻輸送業皆吉

埼玉縣人　榎本彌三郎　卅歲前後丈高き方
右雇入中不都合有之行衛不明同人等
現居所承知の方は御通知に預り度候
相應謝儀可仕此段以廣告及御依頼候
東京淺草區駒形電停前　布施商會

縮緬兵兒帶
勿驚本物一筋タツタ貳圓
東京市日本橋區本石町二丁目縮緬問屋開谷商店にて賣出したる純絹保證縮緬兵兒帶は品質極めて上等にして然も大巾一丈物先に七圓五十錢賣れの品タツク四圓に八尺物四圓賣れの品タツタ二圓と云ふ未だ曾てなき法外の馬鹿値でブン投賣をなし且つ大賣出の紀念として特に大奮發をなし美術を込めし西京西陣製の片側友禪地を兵兒帶一筋の注文毎に一筋宛の無代進呈をなすと云ふ因に希望者はハガキにて申込ば代金引替送料も貰ひで送る由

りん病
淸潟で困る方　多年の慢性もる
自宅にて人知れず安全秘密に治療する良藥あり只一錢切手三錢送れ其良藥と自宅療法の詳細を報す
名古屋市南かじや町　武藤龜吉

酒煙草きらひになる藥
禁酒丸……禁煙液……
どんな酒好煙草のみでも苦なく心から嫌いになる郵券二錢送れば說明書及大澤博士の禁酒禁煙論進呈
其他名士
大阪市靱南通二　森田商店　本舖

小兒良藥
樋屋奇應丸
專治
소아의실신간질
급발열증
等に奇効神の如し
到る處の藥店に有り
樋屋合資會社　大阪天滿橋

ねびゑ
の苦しさは格別である
ハカリ印のヘブリン丸がねびゑを治する偉効あるは滿天下の實驗に依りて明かである。
各藥店にあり
本舖　參天堂藥房
大阪田口のヘブリン丸改稱

自分ノ身体ハ自分デ養生セヨ

胃腸

夏の胃弱家

夏の氣候は自然と人の胃を弱らし筋肉が弛んで兎角食物が進まず身體が倦怠なる平素より胃の弱い者は尚更である夏に水アタリ、食アタリ、コレラ、赤痢、暑氣アタリ、腸チブス等胃腸に關する病の多いのは其適例である

藥の撰擇を誤りて

若一時の胸すかし藥を用ふれば必ず失敗する軍醫の合議製藥、胃活は、實に健胃劑の霸王であつて斯道の大家が『現今の世界に知られたる藥品中其比を見ず』と評せられた位であるから、夏の家庭には何を措いても胃活を備へ玉へ

●諸君は何故に？

▲口中が臭きか
▲食物が不味きか
▲胸がやけるか
▲食物が痞へるか
▲酸液を吐くか
▲腹具合が惡いか
▲顔色が惡いか

●是等は皆胃病の爲めと氣付さし人は後と言はず今直ぐ胃活を服用されよ

●胃活は五大軍醫の合議製藥也
●胃活は容重少くも効能大也
●胃活は流行の口中藥に非ず

胃活 壹圓・六十五錢・四十五錢・二十五錢・十錢　定價
胃活錠 一圓・五十錢　定價 二十錢

注意
胃活錠は携帶には至極便利也　藥は必ず思立たる時買玉へ
胃活錠は飲むに湯水を要せず　藥は必ず高きものを買玉へ
胃活錠は旅行宴席等に紙可ず　藥は病の輕き間に買玉へ

本舖　東京日本橋區本銀町三　電話本局千九十七番　山田安民藥房
發賣元　大阪南久寶寺町堺筋東　電話南二千二百八番　山田安民藥房
取次所全國各藥店にあり

京城日報
第三版
八日朝刊（夕刊と合せて八頁）
發行所 京城日報社　印刷人 小川三之介

獨逸の窮迫

京城日報

獨帝は新たに、東部戰線に於ける軍隊の編制を改め、ヒンデンブルグを擧して總司令官に任じ、墺軍全部を併合して、獨軍司令官の指揮下に屬せしめ、再び其勢力を盛り返さんとすと傳へられ、何ほ未だ大に戰爭の餘力のある處を示さんとするもの、如し。然れども孰れ其國內を見るに、媾和に關する大運動は、全國に亙りて開始せられつゝあり。幷は總務長官ヘルフエッヒの、戰爭及び媾和に關する意見が、微溫的に失すと爲す、强硬論を抑壓し、以て國論の統一を圖らんとするに似たり。元來獨逸政府は、開戰以來全國の新聞通信を拘束して戰爭の實況を報せしめず、自國に有利なる報道をのみなさしめたれば、從て國民は獨逸が到る處、赫々たる戰捷を博しつゝあるものこのみ思ひ、媾和に關しても、彼近强硬の意見を有し居れり。之れを現下の形勢より見れば、國民の主張は到底貫徹せしむる事の、容易ならざると共に動もすれば、更らに不利益の媾和に甘せざるべからざるに至るやも計り難きを以て、此際或程度迄は、媾和に關する基礎を作り置くの必要あるべし、其が爲に今回の、强硬論抑壓となりたるものゝ如きも、一面獨帝は、軍隊及び國民に對して、宣言書を發して激勵し、對外策に腐心しつゝあるが故に、果して此の運動が、成効するや否は、大に疑問とする處にして、尙ほ獨逸も、國民の强硬を抑壓せんと欲せば、却て或は、意外の反動を惹起する無きも保し難く、之れ毛を吹いて、傷を求むるの類たらずんば幸也。

獨逸が今日に至つて、突如斯る運動を開始せしは、卽ち獨逸の窮困を證明するものにして、東西戰場に於ける獨軍の戰勢が、著しく不振の狀態に陷りたるも、亦故なきに非ざる也。其主たる問題は兵員の不足にありて、獨逸は開戰當時に於て、其の作戰行動は、殆ど決勝的態度を以て驀進し、多大の戰果を收めたりと雖も、戰爭漸く長期に亙るに從ひ、餘りに多數の兵員を失ひたる結果、今日に於ては、兵員補充に著しく困難を來し、滿十八歲の男子の如きは既に悉く徵集し盡したるも、尙ほ不足を感じつゝあ[…]殆ど一兵の後備隊たら[…]東西戰線に於ても、各[…]團を殲滅せしめたる事實あり、更らに頃日南戰線に於て、獨軍の退却を傳へらるゝは、之れ恐らく事實にして、獨逸は兵員補充の困難より、戰鬪正面の縮少を行はんとするものゝ如し。されば今後、戰爭の永續と共に、益々窮狀に陷るべし。之に反して、聯合軍は最初より、持久戰の態度を以てせしが故に、今日に至るも、未だ兵員補充に對して、餘り不自由を感ぜざるのみか、兵器軍需品の如きも、全く充實するに至りたれば、是より愈々其の本能を發揮すべく、彼我の位置全く顚倒したるが故に、聯合國は今、其の最後の勝利を、證明するに至れる次第なり。されば獨逸が、今日如何に媾和に汲々たらんも、聯合國側は、當初に於て發表したるが如く、獨逸が、遂に立つ能はざるの期に至る迄は、決して戈を收めざるべく、獨逸の敗北は、獨逸の自滅の期なりと見るも、敢て不可なかるべし、又た實際に於て、獨逸は自滅の外なきものゝ如し。

國境の經濟（一）

中島生

一、統軍亭にて

新義州より自動車の便を借ると一時間で義州には行ける。話しは少々、後れたが、六月の下旬、記者が鴨綠江の水利事業を見に行つた時、偶々平安北道の川上長官に行會ひ、折角來たのだから是非義州にお出で、用意して待つて居るからと切りに長官の勸誘があつたので、當時同行の人達數名と共に新義州から義州に行くことゝなつた。

其頃はまだ鴨綠江岸の山も野も木といふ木はやはらかな若葉をつけて居た。白馬山を前に望み冷しい朝の空氣を衝いて、よく修理の届いて居る道路の上を、左手には日光を受けて銀の如うに輝やく鴨綠江の水を瞰下の間から隱見しながら疾驅する心地は又格別であつた。義州に著いたのが午前十時頃、『海東第一關』と美事な額を掛けた大門を潜ると、道廳に急ぎ刺を通ずると直ぐに長官室に導かれた。待つ程もなく眼光の銳い、武者顏をした堂々長官は長身を現はし、微笑を含みながら一行に應接した。

元來長官は[…]性に富んだ手あひな長官を[…]んだのだからたまらない。それ[…]、[…]部に移住せる朝鮮人の狀態はどうの、滿洲の日本官憲の態度はどうのと質問の矢を浴せかけるので、長官は一々說明を與へるに忙しく、長官一部長に部長以下關係當事者まで呼び出して地圖を披けるやら、統計書を繰り擴げるやら、まるで當節流行の經濟調査會とでもいふやうな始末であつた。

問合に時を費して正午近くになつた「これから統軍亭に行きましよう彼處で食事をあげたいから」と長官は先に立つて廳舍の裏手から小高い岡を登る。突兀たる丘陵を登り盡すと其處に翼然たる古い建築物がある、それが統軍亭である、統軍亭と謂へば有名なもので、特にその來歷を記す必要もあるまいが、一寸云つて見れば「亭下鴨綠江城を繞て流れ、支那の錦山[…]悠然、誠に國境の勝區なり。昔高麗の時に在て、遼兵連年境を侵す。此亭を築き、烽燧を備へて以て敵人を防ぐ、故に號するに統軍を以てし、北は石階に臨し、南は白馬山に臨す。凡そ明韓兩國の使節來往する者必ず斯亭に登り、以て送迎の禮を行ふ。……大の諸路の戰役に及んで我軍の司令部亭下に駐劄し、遙かに敵勢を望んで軍兵を指揮し、甚だ便利なる所ありと爲す云々」道廳で見せて貰つた紀要には右のやうなことが記してあつた。質にや統軍亭の眺望は四顧涯なく「鴨綠江は脚下に在り、江水悠々、白帆參差として鷗の如く、前は虎山を隔てゝ滿洲の五龍山が黑く聳え立ち、後ろには白馬山が遠く積翠を凝らして居る。眼鏡を借らずとも安東義州の市街は四里を隔てゝ尙ほ指すべく、江口に横はる大鐵橋が夢の浮橋のやうに微かに淡く浮出して居る。國境の眺望旣に壯大と申すべく、此高臺に登臨して始めて悠々たる大陸國境に在るの心地がせられた。

統軍亭は二十坪もあらうか可なり大きな建物で、內部は四面とも懸額で裝飾され、巳丑仲夏蘇山書として『統軍亭』の大字が素晴らしい達筆を示して居る。それより四面にズラリ掲げられたるは何れも我が陸軍のお歷々、而かも此處に來て書かれたものみである。三つ四つ寫して見やうか、

此亭明治廿七年[…]大正三年[…]　題
鴨綠江戰の陣歿者を弔うて　木越安綱
さき立し友の御靈を招へは[…]の風は鴨綠江を渡[…]し
過ぎし甲辰の戰役に[…]
より滿十年の記念日に[…]　井上正衛
其むかし矢玉はしもしありなれの[…]長閑にわたる春風
大正五年[…]九萬里長松拔地三千年　南昌

と云ふやうなものもある[…]ては『西風[…]』と寺內總督が大書し[…]本大將は『統軍亭』梅津中將は『主誠』藤井中將は『啓勝』其の他かあまた將軍連の揮毫が賑ね掛けてあつた。白馬山から吹いて來るか、風が滿ちて涼しすぎる位、此處で川上長官の午餐の饗應があつた。新浦の關[…]を眼下に見ながら卓を圍んだ心地。物は書きても一同なか／＼健食、[…]を盡さうとしなかつた。[…]の[…]氏が來合せ、好い處だと一緒に[…]はつたので話が大にはずんだ。[…]て夢中になつてる長氏は上流の[…]から江を下つて今來たのだと云ふ[…]黑い顏から[…]。これは餘程暑かつたらしい。モーニングのズボンが袋の如うにダブついて、腰の邊には巻尺がぶら下つて居た。船に酒樽をのせてチビリ／＼やつて來たのでと酒臭い息をつきながら更に麥酒をグツと飲み下した。

席に居た第二部長の秦氏は酒が余程好きらしい。頻りに飲んで居たが突然長官に向つて「私これから諸君と共に新義州に行きたいと思ひます。一兩日中に出張すると一月以上も歸れないので、今夜は諸君のお相手をして飲みたいですが如何でしよう」と伺ひ出る、長官からは「それは結構行き給へ、君なら充分諸君の歡待ができるから」と直ちに許可が出る、秦君大に喜こんで『さあ行かうランチが待つてるから、早く行かう、麥酒を飲み乍ら鴨江を下らう』と皆を急き立てる。

日報俳壇

雉子郎選

梵魚寺
夏山や木深きに朽つ人は僧　同
路の雨に牛濡れて立つ畑の中　山民
蝙蝠が訪ひ來て留守の門に立ちぬ　同
縫ひ終て針の數見る百合の花　同
寮木に病狗捨てられ泣かでゐる　同
裏畑に子の墓持ちて夏野人　雉子郎

大阪期米特電（五日）
仁川米豆取引所
▲後場の手振
▲相場變動す

家畜界　本邦唯一　活躍八月號
▲八月の養鷄注意 ▲鷄の遺傳 石川博士 ▲卵黄の色を濃くする研究 中川學士 ▲勝島博士 ▲鷄痘の豫防と治療 中村學士 ▲最利益多い一代雜種 ▲多産鷄作出法 ▲鷄の發達史 渡瀨博士 ▲優等雛撰拔法
▲大好評の養鷄能率增進法（再版）一部金廿六錢
一部郵税共二十一錢　半年前金一圓二十錢　一年前金二圓廿八錢
東京神田　振替東京一四七九　曉聲社

天覽　國民新聞創刊二十五年記念出版　蘇峰文選
定價三圓八拾錢　郵税廿四錢　民友社

新版報告
帝國漫遊案內　鐵道院 鐵道旅行案內　日本之山水　海の趣味　鐵道旅行案內
京城南大門通二丁目

經濟之日本　八月號
八月中金融の景況
禪と相場
麥酒會社の販路爭奪戰
株式界の變遷如何
今後米價の前途如何
勸銀副總裁柳谷卯三郎論
決算報告の見方
株式相場成功の秘訣
定價一冊廿錢　郵税共　東京神田　經濟之日本社

與謝野晶子女史新著　中澤弘光挿畫
新譯紫式部日記　新譯和泉式部日記
附錄『新撰紫式部傳』及『紫式部和泉式部年譜』
歌人平安盛期の歡樂と悲哀
大阪屋號

一英國婦人獨逸王室住込探訪記
書中の主なる人公
カイゼル陛下、皇太子殿下、同妃殿下、ハイン
リッヒ親王、ヴィルヘルム、ゼツペリン伯爵、クルップ家、ヒンデンブルヒ
讀め！獨逸の內情赤裸
今ロンドンで大評判 廿版
カイゼル外妾の告白
若林欽先生新譯
三百四十頁箱入 定價七十五錢
實業之世界社發行

富之研究　七月號大好評　八月號
發行所 東京神田 富之研究社

一般銀行業　倉庫業
資本金五拾七萬五千圓（全部拂込）
諸積立金二十四萬百圓
京城南大門通一丁目
株式會社 朝鮮商業銀行
頭取 趙鎭泰　支配人 豊田明敬
南大門支店　本町支店　仁川支店　平澤支店　東大門出張所

東京藥學會
藥劑師受驗期迫る
藥劑師となる近道
東京神田

簿記募集
私立日本簿記專修學校

新生花講義錄

新田帶革
鐵商 白神洋行　朝鮮總代理店
仁川本町四丁目

汽罐汽機賣却廣告
力武精米所

鐵砲は横濱の金丸銃砲店に限る

▲產婦人科
本院 京城旭町一丁目
分院
中央婦人病院

新刊書御案內
大阪屋號書店

秋蒔種子新荷著
三輪種苗店

●聖上陛下御答電

英國皇帝ジョージ第五世陛下には開戰以來第二回記念日に際し既報の如く去る四日我 天皇陛下に御親電を發せられたるに對し我 天皇陛下には五日左の如く御答電御發送遊ばされたり(東京特電)

御答電

開戰以來第二回ノ記念日ニ際シ朕ハ陛下ノ寄セラレタル親電ニ接シ感激ニ堪ヘズ今ヤ不撓ノ同盟軍ハ防禦的對戰ノ後總テノ戰地ニ於テ著々成効ヲ收メ前進ス朕ハ正義ト自由ニ對スル共同ノ目的ガ完全ニ擁護セラル、迄ハ此ノ戰ヲ行フベキ確乎タル決意ニ於テ全ク陛下ト其ノ感ヲ同フスル意ヲ諒セラレンコトヲ冀フ

大不列顛國皇帝陛下

御名

●特使差遣と發表

既報の如く御大典御答禮として露國へ差遣さるべき皇族殿下は愈々閑院宮載仁親王殿下に御內定相成りたるを以て一兩日中に公式の御沙汰あるべく又宮內省及び外務、陸海軍各省より詮衡の隨員も略決定したるに付御裁可を經て之れ亦一兩日中に宮內省より發表さるゝ筈なり(東京特電)

●蒙匪再び突泉を奪ふ

突泉縣は再び蒙匪軍に取り返され目下匪軍は洮南の西方五十支里の處に對陣せるが討伐軍は增援隊中逃亡兵多く士氣沮喪せるに反し匪軍は意氣猛烈なるも軍器の缺乏に苦しめり此處數日間に其の補充を得されば北退するの止むなきに至るべし張督軍は白兵戰に備ふる爲め拳銃二千個を發送せり(奉天特電)

●英軍前進砲座破壞

在佛英國司令官ヘーグ將軍五日夜の公報に曰くボデエル北方及び西方の我戰線は最近二日間に於て三千マークに亙る前線にて四百マークの前進を爲したり(但し此の內には既に總占領を報じたる地域を含む)尙濠洲及びケント、サーレー、サセックスの諸聯隊も此の戰鬪に參加し敵軍の猛烈なる砲火を冒して占領せる地域を固めたり我砲兵隊はクール、レット及びミロウモンを砲擊し砲座十個所及び軍需品貯藏倉庫三個所を破壞したり(倫敦電報)

●憲兵分隊長更迭

朝鮮に於ける異動

六日憲兵分隊長の異動發表ありたり其の中朝鮮駐箚憲兵隊分隊長の異動左の如し(東京特電)

補朝鮮駐箚憲兵隊分隊長(各通) 陸軍憲兵大尉 豊原俊雄
同 荻原吉五郎
陸軍憲兵中尉 瀧野秀吉
同 畑山稷雄
同 萩原茂夫
同 小田金平
同 藤井熊太郎
同 奥野保一
補朝鮮駐箚憲兵隊分隊長 朝鮮駐箚憲兵隊分隊長中尉 藤井近之助
免本職補豊橋憲兵分隊長 朝鮮駐箚憲兵隊分隊長大尉 上田道太郎
同 新庄正史

●辭令

七日左の如く依願免官の辭令ありたり(東京特電)

依願免本官 朝鮮總督府典獄 鮫江震治郎
免本職待命被仰付(各通)
同 坪野與一郎
同 竹下剛
同 古谷堅城

●新鹽田の開設

當局の製鹽增加計畫

朝鮮に於ける鹽の需要は年間約二億斤に達するも總督府廣梁灣、朱安兩鹽田の製鹽田は現在の所六七千萬斤に過ぎず乃ち約三分の二は之れを山東鹽及び關東州鹽に需めざるべからざるが朝鮮に產鹽の素地を有するに拘はらず斯くては對外貿易並に鮮內產業上遺憾少なからず加ふるに鹽專賣制も早晚實施の事となるべきに付總督府にては夙に鹽田を增設し其の製鹽の增加を企圖するの必要ありとし諸種調査の結果現在兩鹽田の面積を擴張する事は管理上面白からず殊に現に執りつゝある集約的製鹽法に面白からぬ影響を及ぼす虞れあるに付度支部專賣課は適當なる新鹽田の候補地を選定し之れに相當の設備を加ふべき事となり居れど財政上の關係より未だ實現せざるが多分明年の總督府豫算には若干額の計上を見るべしと尙ほ候補地は既に內定し居れど買收地價に至大の影響あるを以て豫算確定まで發表されず

●支那人の溺死

仁川萬石町 [illegible] の住民駈け付け引揚げたる旨報告に接し仁川署 [illegible]

[illegible] 郡內面 [illegible] 里李允成長男李鳳武(六つ)は八月四日 [illegible]

[illegible] 煙草の火を [illegible] して [illegible] 死傷者あるを憲兵出張して取 [illegible] 文外數名と共に水田の水溜堤防の [illegible]

[illegible] 妻李秉浩は三 [illegible] 丁目の路上にて十圓紙幣一枚を拾得 [illegible]

●營林事業擴張

八萬尺締增採の計畫

近時朝鮮內に於ける建築は師團增設に伴ふ兵營官舍其他の新營盛んにして從つて營林廠村の需要は頗る旺盛を極め居れるが營林廠にては此の趨勢に鑑み明年に於て本年よりは約八萬尺締めの伐出增加を企圖し之れに伴ふ貯木場擴張等の要件に付澤永營林廠庶務課長は一兩日前迄滯京中なりしが大體に於て事業擴張の打合せ終了せりと尙ほ右八十萬尺締め明年流筏の增加に充つるには今秋の伐出より手を擴げざる可からざるに付夫々當局にて諸種の準備を進められつゝありと

●商業金融の發達

當局の調査に係る本年上半期末の朝鮮各銀行貸附金種別を按すれば其の現在高に於て前年同期に比し不動產貸附有價證券貸附商品貸附は何れも四十萬圓乃至七十萬圓を減じ結局百八十四萬五千圓の減少となり居るも之れに反し商業手形の割引を主とする信用貸は二百三十五萬圓を增加し居る爲め結局貸附總額に至り四千二百萬圓を算し五十萬五千圓の增加となり居れるが右の中不動產貸附の減少せるは農銀農工方面營業の必らずしも順調ならざるを語り有價證券貸附の減少は工業金融の幼稚なる朝鮮にとりては多く問題とするに足らず寧ろ金融緩漫の爲めならん而して又商品貸附の減少七十萬圓を算せるは昨夏に比し在庫品を擔保とし銀行に金融を求め居る數の減せるものにて本年は商品の荷動へ少なく荷動き活潑の現象を一面に現はせるものと見る又信用貸附の增加は商業手形流通の圓滑を數字に現はせるものと云ひ得べく朝鮮商業金融の發達と稱して可なりと某金融業者は語れり

●果物生產激增

朝鮮に於ける本年の果樹生育狀況は昨冬來の發育良好なりしため本年の果物生產額は苹果、桃、葡萄等を通じ前年に比し倍額或は二倍位の增收あるべしと豫想され居たるが果して二倍以上三倍半位の增收を見んとする所少なからず殊に三浪津地方に於ける洪水のため一部生產額の減少を來したるも尙ほ且全鮮を通じて前記の如き近來稀有の盛況を呈し居れり其原因は一昨年の豊產の影響を受けて昨年は所謂『年切れ』と稱する不作を來し果樹の休養を爲したため本年の豊產を見るに至れるものなるが只此際栽培家に於て注意を要するは目前の小利に惑はず果實の間引を行はされば又しても來年度に不作を喚ぶに至る可し而して是等の販路に就ては大邱方面よりハルビンに向け輸出さるゝものを始め模範場元山支場よりは葡萄類を浦鹽方面に仕向けらるゝこととなり居れり其他の生產品は鮮內又は內地等に向ふもの多く出盛は本月中旬より下旬に亙りてなるべし(勸業模範場久次米技師談)

●鮮內產金增加

朝鮮調査本年上半の地金買入高は千四百六貫七百八十匁其金額五百五十一萬一千九百十一圓にして之れを前年に比すれば貫目に於て百七十貫金額七十萬圓の增加となり居れるが更に地方別にすれば西鮮方面の產金最も多く乃ち平壤支店の買入高に於て三十七萬圓を增加し本店七萬圓元山支店六萬圓馬山支店に於て四萬圓の增となり其他仁川群山大邱各店も夫々增加し木浦支店のみ聊か減少し居れり

●航路標識現在數

朝鮮沿岸航路標識たる燈臺燈竿導燈桂燈立標桂燈浮標等の現在數は八十五箇所にて之れを各沿岸別に擧ぐれば左の如し

沿岸別	燈臺	燈竿	導燈	桂燈立標	桂燈浮標	計
東岸	一二	一	…	五	…	一八
西岸	一二	…	一	四	五	二三
南岸	二九	…	…	六	一〇	四五
總計	五三	一	一	一五	一五	八五

而して右の外霧笛標立標浮標等の合計は百二十一箇所霧信號所霧砲等七箇所に達するを以て總計二百二十三箇所なりと

●印紙收入增加

總督府印紙收入の六月中に於ける狀況を聞くに收入二十一萬一千五百圓にして前年より四萬四千圓を增加し四月以降の累計は六十九萬千九百圓にして前年同期より十八萬四千圓の增加也と

●鮮銀券發行週報

七月三十日より八月五日に至る一週間の朝鮮銀行券發行平均高は左の如く前週は二千八百萬圓臺なりしも當週二千九百萬圓臺に上りしは奉天借款授受の爲めなるべしと

總發行高	二九、四〇五、一六一
支拂準備	一〇、四二二、一五三
保證準備	一八、九八三、〇〇八

●財界時言(八月)

製絲會社について

○溫氣蒸して密雲屢々、降らんと欲して降らず、不得要領の天氣也。

○朝鮮製絲會社の株主總會は何と云つても醜態たるを失はず。苟くも朝鮮に於て一の會社を組成するものが此の京城に於て彼れ丈けの紛紜を生じては、會社當事者たるもの此儘では世間に合す顏もなかるべし。

○會社の重役が惡いか、株主が我儘なるか、左樣なことは敢て問はず、多寡が渺たる一小會社なり、其起倒が直ちに財界に大影響を與ふるが程のものにもあらず。然れども、折角出來上りたる會社なれば、成るべく破綻を出さずに健全なる發展をさせたきものなり。朝鮮に於ける事業經營なれば、是非共成功せむ事を希望すればこそ、此の時言子は苦言を敢てする也。

○聞けば一日で濟まし切れずに後日總會の繼續會を開き、其席上にて、脫脂綿供給の事は重役が全責任を引受け、損失を招きたる時は重役が之を背負ひ込み、その代り若し成功して利益を得たる曉には重役の意思にて其幾分を會社に提供すべしといふ樣な協定にて兎も角も納まりは付いたる由。何と云ふ虫の良過ぎる怪案ぞや。此の協定を解釋する時は重役は會社の名義にて事業を營み、而かも自己の計算を以て自己が危險を冒す故、重役等は會社の傘下にて營利事業を行ふ也。それで損を招きたる時は重役之を引受け、その代り利益があらばその割前を會社に寄越せと云ふ譯にて、儲かりし場合にはつまり株主も儲かるといふ次第也。換言すれば會社は重役より口錢を取ると同事なるべし。隨分奇怪なる申合せならずや。言ひ出した者も言ひ出した者也。承知した者も承知した者也。

○尤も會社內部の申合せの事なれば、傍人の口出す筋でなきやも知れねど、彼の總會の申合せは或は恐る、他日一大紛擾の因となるなきやを。時言子の心配が杞憂に畢らば、此れに過ぎたる幸はあらじ。併乍ら苟くも經濟界に立ち働らく者は、努めて世の誤解を避け、飽くまでも公正に、會社の面目を立て、併せて經營者たる面目を保ち行くやうに心がける事が何より肝要也。製絲會社の重役も株主も、正當に相爭ふは可なれども、下手な事して蹉跌せぬやう注意せよ。

○時言子何ぞ惡口を好まんや。たゞ朝鮮に於ける營利會社の經營は內地に於けるよりも特に愼重を要する理由あるが故茲に一言を要す也。

●滿洲だより(大連支局報)

▼東鐵の石炭注文

從來木材を以て機關車の燃料に供し來れる東清鐵道は各工場が木材に代ふるに石炭を以てすると共に年來の慣習を破りて機關車に石炭を使用する事とし優に我が滿鐵に對し撫順炭の大注文を爲したるが其後沿線に於ける油房業、甜菜製糖業其他諸工業製造業の發達に伴ふ燃料使用高の增加に鑑み今回更に滿鐵に向つて撫順炭二萬餘噸の注文をなし來りたれば滿鐵にては其の注文に應ずると共に目下引續き其の輸送をなし居れり

▼金州農村の維持

都督府の經營に係る金州大魏家屯愛川村の農村は長野縣下よりせる眞面目なる新農民の移住せしに係らず又々失敗に終れること既報の如きが其後聞く所によれば農村愛川村の現移住民は戶數十四戶にして十二三町步の水田の外一戶につき五反步宛の畑地を耕作したるところ灌漑水不足のため水田全面積の大半は旱害を蒙りて全然失敗し其後の降雨に依り僅かに其の六町步餘を取止めたるに過ぎず昨年の失敗は移住農民の不勤勉と虫害及び旱害のため失敗せしが本年は旱害のみにて失敗したる次第にて之が爲め移住農民は非常に失望せるも左りとて全然望を絕ちたるにあらず殊に監督の局に在るものは折角今日まで持續し來り勤勉且眞面目なる農民をも移住せしめたる場合偶々旱害のため失敗せりとて今更農村經營を斷念するが如きは不可なりと稱へ來年度は旱害豫防の貯水池を築設すべく之が計畫を樹て一方農民を慰撫し飽迄維持する事に決したりと

▼豆粕乾燥試驗

生產過剩其他の爲め大連の油房業が經營難を感じ危地に陷れることは屢報道せしが元來豆粕の用途は作物の肥料としてのみならず家畜の飼料としても相當需用あり然るに大連油房製造の豆粕は含水量多く直ちに黴を生じ貯藏期短かく目減又は變質する爲め家畜の飼料たるに適せず鈴木油房製造のベンヂン浸出式バラ豆粕は此點に於て稍々良好のものなるも未だ普く一般に需用せらるゝに至らず今々現在製出の豆粕に對し乾燥の方法を講ずるは改良の一步たると共に經營難を感じつゝある油房業に一新活路を開くことゝもなるを以て滿鐵中央試驗所にては慶松博士研究の下に豆粕乾燥試驗をなしたるところ比較的少額の費用にて良好の成績を收めたれば愈々大規模に豆粕乾燥試驗をなすべく之が計畫中なり

▼四鄭線停車場

四鄭鐵道は既に大體の踏査を終り目下細部の測量中なるが四鄭間約五十餘哩における停車場は鄭家屯、三江口、海風、八面城、四平街の五箇所に略々決定し必要に應じ更に二三驛を增加すべく而して其の主要驛が鄭家屯及び四平街なることは言ふ迄もなし猶ほ機關庫は四平街に置き鄭家屯に分庫を設くべきかと云へり

人事消息

▲堅司才知氏(龍井驛內務部長) 七日夜入京巴城館へ
▲滋賀縣八幡商業學校職員生徒一行 十六名七日夜入京京城ホテルへ
▲ベセリー氏夫妻▲ペモイ氏▲グリンワタン氏 七日夜入京朝鮮ホテルへ

■南言北語■

蒙匪討伐中負傷した吳俊陞もトウド死んだ相な▲吳俊陞は武人としては却々豪い鬪將であつた▲世間では彼を純然たる清朝の武官出身の如に考へて居るが其實は綠林の出である▲一時は金壽山など、氣脈を通じて北方に梟威を張つたものだ▲此の前蒙匪烏泰王や勝福等が兵を擧げた時などは手兵を提げて討伐に走せ向ひ單騎六十餘名の匪賊を射殺した事もある▲其處で馬賊も蒙匪も吳俊陞の名を聞いてさへ縮み上る位であつた▲其れに彼は乘馬と射擊が非凡であつて特に彼が得意とするモーゼル拳銃の射擊は實に百發百中で鳥渡何人も眞似が出來ぬ程だつた▲今回も何あに巴布札布位がと高を括つて出掛たらしい殊に巴布札布は前年洮南で散々破つた事もあるから▲處が今度は吳の出陣振りを心得て居る蒙匪の方で彼を途に要して巧みに狙擊したらしい▲彼は平生は支那人一流の緊張のない顏をポカンとして口からは始終涎をタラ〳〵垂らして居て話をすると一向下らぬ男だつた▲が戰爭と來たら何うして頗る慓悍であつたのは不審な程であつた兎に角名物男を失くしたのは官軍の爲に惜い事だ▲名物男と云へば宗社黨の首領として有名な升允も一昨六日の夜十時に長春驛で刺客の爲重傷を負はされた相な▲彼は滿蒙方面に於て宗社黨の爲に大に暗中飛躍をやつて居たから宗社黨側から見れば非常な損害だ▲而して蒙匪は討伐軍の大將を斃した代りに蒙匪と關係の深い宗社黨の首領をやられたから差し引き餘り德は行かね▲奉天では張督軍が定めて笑たり怒つたり仕て居るのであろうが▲吳は一時張督軍に對する北京からのお目付役を承つて居た事があつたつけ

●日本總督府公文添付

京日案內

普通(一回一行金三十錢以上…) 番外(一回一行金六十錢…)

普通

内鮮人外務員募集 給料面談 京城花園町一ノ二(電話二八八六番)朝鮮物價通信所 5

●店員入用 希望の者は直接來談 市內確實なる保證人を要す 京城本町四丁目 丸山商店

●松汀里光州間自働車は太田木浦間の列車に聯絡す ▲光州自働車會社

●古本熱心高價買入 ●是非御試賣を乞ふ ●御報參上 電話二七八一番 本町四 書肆群書堂 591

○古本■高價買入 ▲京城本町三丁目 東京堂書店 509

萬年筆の修繕は如何なる部分も極めて廉價に即時修繕定價無代送付 京城旭町二ノ六バイン萬年筆出張所 569

●貸家 漢陽公園南奧 三坂通 清涼寮に更しらす 官吏向 管理人 龍山印刷局先 575

番外

百人乘形遊船來る 國際御遊船は特に御用命願上ます 龍山電車終點(電話五二八番) 共樂社 1

礦物定量分析 京城府太平通(朝鮮公論社左小路)電話一三四四番 坂元分析所 4

尺八音譜新著 東京尺八講習會發行川本逸童先生作 御近附電一一六 京城本町二 嚴松堂藥書店 目錄往復 595

●京城春川間自働車 毎日午前八時出發 賃金片道四圓 ●南大門通一丁目 電話二一九番 廣橋自働車 主務 金正淵 592

恩給年金も特別御便利に 京城若草町百六番地 壹分 即時立替 地方廳支拂 退隱料 御相談申上候 西村商會 553

鑛物分析 京城鍾路二ノ九九 金石商會

鑛山測量(電話一八九九) 確實迅速 夫れ夫れ專任技師に依り 559

外勤社員採用 年齡三十歲以上 內に確實なる保證人を要す 希望者は履歷書携帶來談ありたし 京城南大門通二 大同生命出張所 562

●はねつぎ うちみ くじき等 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 564

恩給年金 低利 長期 即時立替 確實融通 京城永樂町一丁目 ▲極秘密 ▲商品陳列館表門前 江州屋本店 568

恩給年金 立替 即時取引 退隱料一切 京城櫻井町 大正館向 元祖 博多屋 本店 利子年一割 572

普通文官 養成 講義錄 大募集 此際入會者に限り 新學期開講 會費全免 其他の特典あり 京城觀水洞 日本大學法制學會支局 583

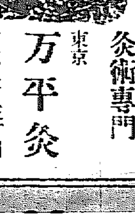
▼金融 月給取の御方樣に 秘密信用融通仕候 京城府漢江通り七番地の三 仁木屋 585

恩給 年金 書類 五年半分迄立替 月利 三年迄無保險 國債 公債 特別高價に買入す 京城南大門外(西側) 京城櫻井町二丁目 山口屋 586

內科 婦人科 小兒科 花柳科 京城櫻井町二丁目 大正館南半丁 筑紫醫院 587

太田胃散 胃病良藥
○飲過ぎ食過ぎに妙なり
壹個十錢廿錢卅錢五十錢一圓
本舖 東京吳服町 太田信義藥房
▲全國到る處の藥店に販賣す

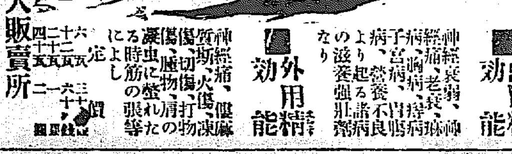
●尾琴屋商品●
●造花專用のレース糸
●バテン用めつき糸
●木綿縫ひ糸 十六入三合 三十入三合 四十二入二合 二十入三合 十六入四合 二十八入二合
●ゴムテープ、毛ベリ
●エンプロイダ、ガロン
●飾レース、飾テープ
●縫ひ針 メリケン針 三角針 蚊帳縫針 天上針 ミシン針
京城明治町筋 尾琴屋



灸術專門 東京 万平灸 京城本町三丁目 淨土宗開敎院入口

山田醫院 本町二丁目四十五 電話一二八〇番
內科 小兒科 花柳病科 呼吸器病專門 胃腸病
(入院隨時) 山田萬作 尾形周太郎

朝鮮總督府許可



■內用精 効能 神經衰弱、老衰、疲勞、病後、胃腸病、消化不良、子宮病、痔疾、諸病より起る滋養強壯藥なり

■外用精 効能 神經痛、火傷、傷口、切傷、腫物、打物、肩の凝り、時に筋の張れ等によし

人參直引大販賣所 朝鮮人參エキス 人參エキス藥 名產一切 製造發賣元 京城本町一丁目 津村兄弟商會 電話一四八〇番 振替京城三五二番

特約店 北島藥房 古城藥房 廣岡藥房 松屋 阿部藥房

[illegible]

□畑打ち

●壹萬千餘岬

金剛第一關

金剛山に飛行機射撃演習場を發見しやうと思つて……　井口軍司令官談

春川部隊の檢閲から麟蹄部隊の檢閲を爲し、元山に出るのに更に同じ道を戻るよりもと陸路金剛山經の踏破をやる事にして萬二千峰の輪を瞥見して來たが、金剛山も實に登らんが爲めに登つたのではなくて實は

飛行機射撃演習

場候補地踏査の心組もあつたのだ一體飛行機射撃演習場は高さ一千米突以上の高地が地上から六十度以內の鋭角度で屹立してると云ふ條件が在るので仲々恰適の候補地がなく世界中でもアルプス山に丁度いゝ處がある位のもので餘り匹敵する箇所も無いが殊に日本では山國であり乍ら恁うも適當の場所が無くて不完全だが信州の

日本アルプスの

一部に一千米突未滿の箇所がある許りだ若し金剛山に於て之を發見する事が出來ればと思つて愈々金剛山に寄る積りで龍山を出發したのが七月の二十日で丁度土用の入りである。七月に入ると雨が頻りに降り此時期の金剛山入りは出水の爲め往々交通杜絕の危險があると云ふので頻りに戒もされたが出發の日も

前夜中驟雨あり

稍に心配してると朝出發の前に霽れ渡つた自動車に搭じ官邸を出たのが朝九時であつた。東大門から金谷里迄の道路の完全なるは恐らく內地にも比を見ない位立派なものである殊に柳並木の優美なる流石陵道として手を入れた丈けの値はある、金谷からは道路山地に入り谷間を迂曲して北漢江の流域に沿ひ秘かに蜒ねた出水も案ずる程もなく

小支流は水中を

突破し本流は船渡しで春川に著く春川は四面山を繞らし、盆地で內地人約千二百餘在住、大隊本部と一箇中隊駐屯し大隊長末松少佐、今岡中隊長在り二十一日之が檢閲を爲す此處で岡前陸軍大臣の訃報に接し遙に弔電を發した附近一帶山地なるにも拘はらず地味肥ゑ特殊產物たる煙草、棉花其他蔬菜なぞもよく出來

狹き耕地も稲作

行届き自作を以て自給するに足ると云ふ。廿二日春川を發し麟蹄に向ふ是れからは朝鮮馬の旅である白雲悠々として四方の山々を籠し今にも降り出さん許りである然も白雲裡何方とも知れぬ鶯の啼音聞こゑて肌涼しく一體に夏の氣分であり乍ら白雲の日光を遮りたる趣は正に春の氣分である

此興趣を散文で

よりもと日記の端に一首を記す

鶯の聲も涼しく明けり　四方の山邊は朝霧りして

春川から一里の處で昭陽江を渡る江畔に鳳儀山あり山腹に昭陽亭あり眺望よく古來觀察使など來り遊べる處と云ふ渡江後須臾にして貊國時代の舊趾牛頭山あり山上に小祠あり社祠は鮮人の作と云へど、

綦蓋雄尊外征し

て一時一帶の治權を掌握した維蹟を祭るとの傳説がある。二里半にして泉田里あり昭陽江の狹き谷沿ひの道は兩側の岩石磊嵬として鮮馬行くに難む夫れより一里四十五町にして內坪里に著き憲兵派遣所官舍に泊る二十三日未明雨降る、愈々雨に降られたかと思ふて耳を澄せば

雨中頻りに時鳥

の啼くあゝ聽て雨は霽れたれど低雲山間に迷ふてゐる

時鳥聲する方は夜もすがら　ふる霧雨にかすみせる山

午前七時半再び鮮馬に跨り麟蹄に向ふ麟蹄江に沿ふた道路は寧ろ前日よりいゝ四箇所に渡船場あり大洞峠を越ゑんと

峠の上に到れば

谷川の音何處ともなく聞こゆれど水は見ゑず

谷川は岩にくだけて流るらん　木の下蔭に音のみのして

正午、水內里に到り憲兵出張所で晝食を濟し一小峠を越して午後六時麟蹄に著く。（つゞく）

●蘇生せし一學生

苦難を語る

甲武信嶽登山の途中行衛不明となりたる帝國大學々生中村幸三が一人三富村なる丸善製版所（廣瀨製版所は誤り）に辿り落きたることは既報の如くなるが瀕死の境より蘇生せし一學生中村は語りて曰く一行は七月二十五日

▲三富村に露營

し二十六日未明出發行程六里の甲武信嶽に向ひ其の日は同嶽の中腹に露營し二十七日登山せんとせしも風雨激しくして登る事能はず已むなく元の處に野營したり然るに二十八日は風雨益々激しく且つ一行中小山修三は激烈なる腹痛を起したれば自分と安川半兵衛の兩人にて藥用の飲料水を求むべく一行の所持せる水筒を集め溪間に下りしに濃霧深くして安川ともはぐれ露營地に歸らんとせしも道に迷ひて歸る能はず其の夜は大樹の下に一睡もせずして黎明を待ち二十九日拂曉漸く露營地に歸りたるに一行は何處へ行きしにや

▲影だに見ゑず

食料は一行が所持し居る事とて諸所を尋ね廻りしも遂に發見せざりしより已むなく三富村に引き返さんとしたるも行手は溪又溪山又山と重りて何處へ辿り行く可きかを知らず疲勞は一歩々々に加はり食すべきものは元より無く木の根岩角にて手足を痛め人跡絕へたる深山を彼方此方と彷徨ひ空しく九日間を過し漸く製版所に辿り著き救を求めたるなり猶警察部の搜索隊は東京より出張の搜索隊と協力し部署を定め他の四人の行衛を搜索すべく更に山奥に入り込みたり（東京）

●錦を飾て故國へ　女醫になつた二支那婦人

東京牛込の女子醫學專門學校を昨年卒業した支那留學生の蘇淑貞（二七）と錢旭琴（二五）の兩女醫は學成りて此程愈歸國する事に成つた錢さんは上海の公立病院蘇さんは廣東病院に二人共產婦人科擔當であると錢さんは蘇州蘇さんは廣東人で共に

▼選ばれて官費生　となつて

來たが兩人共兄弟は秀才揃蘇さんの兄は高等工業卒業生次ぎは醫專學生妹は現に女子醫學專門學校在學中で蘇さんは質疑女學校を卒業して女子醫專に入學したのである錢さんの弟も官費生で昨年藥劑師となつて歸國した又吉岡彌生女史の學校には支那留學生が二十五名程居り錢蘇の兩人の樣に四年間寄宿舍に居て國へ歸らないで勉強するは珍らしい支那婦人は一體に男子に逢ふのを厭ひ例令病氣に罹つても絲脈でしか見せぬので何うしても支那女醫を作り是等不幸な

▼支那婦人を救濟　したいと

云ふ抱負が實現されつゝあるので同女子の醫學校の支那卒業生で支那に開業して居る者は北京に二人廣東に一人だけで此度兩名を加へて五名となり僅か二名でも支那に女醫が殖ゑたと云ふ事は支那婦人の爲め確に福音である（東京）

●立替請求訴訟

京城宮井洞鄭畯[illegible]は大久保[illegible]辯護士を訴訟代理人と定め侯爵朴泳孝、子爵趙民熙、黃金町一丁目李允用、昭格洞尹致昭、男爵朴箕陽、崇一洞閔泳綺、貫鐵洞李宗熙、茶屋町趙重應諸氏の貴族紳士を相手取り金一千五十一圓五十三錢五厘の立替金請求訴訟を京城地方法院に提起せり原告の訴訟要旨に依れば前記の諸氏發起者となり去る明治四十四年中內外諸陸物產賣買及び仲介委託販賣並に倉庫業の目的にて勸業株式會社の設立を計劃し同時に原告は其の依賴を受けて會社の會計事務員となり會社創立費として前記請求金額を支出して立替ね置き越えて大正元年九月中會社創立申請を其筋に提出したるも却下となりて遂に其の成立を見ず依て其立替金を請求するも應ぜざるより右の訴訟に及びたるものなりと

●赤鱝に刺さる

仁川港通船第六號乘組船夫原籍全羅南道濟州郡新在面朝天下洞韓熙元（二八）は八月六日午前九時頃永宗島沖合にて漁業中赤鱝一尾を釣り上げ右手を尾に觸れたる刹那該毒に感染し其儘打倒れ

先生から

生徒諸君へ　暑中休暇中の

―4―

◇暑中休み中の心得に付て各學校の先生は一樣に復習の大切な事と病氣に罹らぬ樣にせよ、夏は病氣に罹り易い時であるといふ事を反覆して敎へて居る

◇然るに精神的訓育の一面を見ると頗る閑却されて居る規則正しくせよ禮儀を守れ禮儀作法を亂すな許りでは甚だ物足らぬ

◇此だ理智に偏して居る今少し進んで高尚なる精神、健康なる思想を發露する所に意を用ひて貰ひたいと思ふ

◇高尚なる人格、健康なる思想は小學校時代に萌芽するもので、少くとも此の時代に啓發して置かなければ不可ぬ

◇斯う云ふ方面の注意を與へて居るのは極めて少く僅かに春川公立尋常高等小學校の

◆家の仕事◆によく手傳ひ

毎朝起きた時と寢る時にはお父樣お母樣を初め目上への人達に鄭重に挨拶をする事、神棚、佛壇に向つて朝夕拜禮し供物燈等のある場合はなるべく進んで捧げるやうにする事

◆お祖父樣◆

お祖母樣の御機嫌を伺ふ事を忘れてはいけぬもし內地に居るならば時々手紙を出して年寄の心を慰めるやうに勉めなければいけぬ

◇生徒へ對する心得書と父兄に對する注意書と兩方に此の意味が記してあるこんな事は今更特に記すには餘りに平凡過ぎると云ふ人があるかも知れぬが平凡な中にも斯んな大切な事が多くの人から忘れられて居る事を思はなければならぬ

◇全州小學校でも又『知識の神髓や佛像を拜み目上の人達に挨拶する事を必ず怠つてはならぬ』といふ事が記してあるが殊に同小學校の心得書の中に

◆滅多に小說◆を讀んではならぬ先生によいか惡いかを見て貰ふてからお讀みなさい

◇讀み物の制限をして居る學校は他に聞かないが之れも亦非常に大切な事である殊に本年は學生閱讀圖書の精神迄さへ論ぜられて居る位であるから此の方面の注意も頗る緊要であらう

◇教科書以外の書は全然讀むなと云ふ如うな行はれ難い命令を下すよりも『よいかわるいかを先生に見て貰ふ』て讀ませる方が好からうと思ふ此の外勉つた心得書の中には仁川小學校の

◆毎日蠅を◆捕つた數を日記に書けよ而して學校へ出る日には必ず其の數を合せて來い

◇と書いてある、蠅が衞生上甚だ恐しい虫である事は誰しも知つて居る巨費を投じて之れが撲滅を圖つて居る都市はある而し未だ小學生徒の競爭心を煽つて之れが撲滅を企てた[illegible]に至つては蓋し仁川を以て嚆矢とするであらう

●八十餘名の盜掘團

金剛山中にタングステンを探る

京都在住齋家恒川其幽氏は六月下旬探勝のため金剛山に入り約四十五日間を費し五日歸途寄元せり同氏が探勝中意外なる事件を發見するに至りたる次第を聞くに同氏の一行が溫井里より九龍淵に至る途中一隱壑より行に祈れ觀音峰の後方谷合を探勝中之れ迄絕ゑて探勝客の足跡を印せし事無き谷底にて怪しき人聲聞ゆるに不思議に思ひつゝも段々下り見れば驚くべし八十餘名の盜掘鮮人の一團が此谷底に於て盛んにタングステンを盜掘しつゝあるを發見せり然るに盜掘鮮人側に於ても數名の人影來るを見て扨ては我等の仕事を邪魔するものと早合點し一齊に仕事を中止し萬一近寄らば抵抗せんとする氣配を示したれば一行は危險の目前に迫りしを知り探勝途中兼ねて用意の短銃を亂射して彼等を威嚇しつゝ元來し道に引き返し行りし次第を詳細に憲兵隊へ通報せしかば憲兵側にありては時を移さず直ちに二名の憲兵を出張せしめ同所に向はしめたるが何分前記の如く八十餘名の一團にて近寄るべくもあらざれば其の打合せを爲し之れが[illegible]務部へ打電し總監部と打合せを爲し之が善後策を講ずべく目下手配中なりと（元山）

●不良少年檢擧

全南木浦市內各所に小泥棒の被害頻々發生するより木浦署に於ては不良少年の所爲なるべしと眼星を付け極力探偵中の處此程に至り犯人として次ぎの七名を檢擧したり

羅州郡二老面運湖里二統二戶崔判玉（十七）同上三統五戶朴判岩（十六）同上統戶不詳金林雲（十七）同上四統一戶朴甫俊（十七）同上朴英同（十八）木浦府竹洞十四番地羅介圓（十九）住所不定姓不詳同伊（十七）

●澎湖島の旱魃

澎湖島に於ては五月中旬以降ゝ雨殆んど皆無の爲め各種農作物は全く枯死せんとする狀態にあるが同島には水稻不生產の爲め下流民等は甘蔗、落花生等を主食とし居れるも其れ等のものさへ昨今の爲め收穫全然皆無となるべき狀態にあるを以て人氣全く凋衰し向後尙ほ引續き窮民の增加と共に細民生活上の保證を爲し能はざるべく目今は未だ救濟を要すべき細民の出現を見ざるも近く是等の必要を感ずるに至るべしと（臺北）

●腹癒せに窃盜

京城林町居住尹善明（二〇）は本年三月より七月二十一日迄智洞菓子商咸聖賢方に資子として雇はれ中一回に二三十錢乃至一圓位宛合計十圓餘を窃取したること發覺して解雇されたるより腹癒せに勝手を熟知し居るを以て同月二十三日夜同家に忍び込み現金二十八圓餘入りの木製錢箱一個を窃取して靴、著衣等を整へて新町遊廓長谷川樓に通ひ詰め居れる所を本町署に御用となる

●眞瓜屋と飲食店

仁川花平里金完淳（五〇）は本月一日午後一時頃仁川花平里道路上に眞瓜を陳列販賣せる處を見附けられ又は仁川寺町飲食店河順玉（六〇）は本月四日午前十時頃自家に販賣せる飲食物に規定の處置をせざりし廉により八月六日何れも五十錢宛の科料處分を受けたり

―運―動―欄―

▲訓練院の兩野球戰

▲鐵道俱樂部對遞信俱樂部野球戰は六日午前九時より訓練院に擧行されたるが結局十二對七にて遞信軍の勝に歸す▲倭城俱樂部對遞信俱樂部球戰は同日午後五時より同じく訓練院にて開始されたるが遞信軍は強敵鐵道軍を破りたる餘勢を以て終始倭城軍を壓し終に十一對八のスコアにて倭城軍敗る

▲寄席○紀久八、蘇香、錦糸の男女合同一座にて興行中なるが七日夜より一番目石井染の遺引、中幕勸進帳、切喜劇思ひ通りにて二番目の役割左の如し十八番にて錦糸の富樫に紀久八、歌吉、湖調が附合には御難もある山その役割左の如し番卒、高尾（紀久八）▲番卒、三浦竪鐵之丞（蘇香）▲扇屋女房、龍井八郎（增枝）▲鶯鈴、佐久間八郎太（依繰）▲下郎市助、武藏坊辨慶（蘇香）▲富樫左衛門、石井常右衛門（錦糸）

▲大正館○○七日より寫眞[illegible]△貨物列車トレントの郊外△安部遊覽旅行△探偵活劇天詩の[illegible]△活劇カチユーシヤ復活全部四卷△喜劇馬鹿三郎氏[illegible]百二十錢

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

▲一口噺題隨意

○母『坊や佛樣のお團子を上げるから取つておいで』坊『いやだ團子を取ると監獄へ行くつてお父さんが云つたよ』（一等）　龍の里　金筋生

▲甲『女醫は藝術のために生きるんださうね』乙『藝術てどんなものだい』丙『きまつてら洋食の名だよ』　龍山　小草子

▲小供『お父さん角に小供の店が出來たさうですよ』父『そんな物はあるまいよ』子供『でも隣りの伯父さんが自動（見童）電話が出來たつて』　京城　刀水龍

▲電車の車掌『チンチン動きまアす』熊公『きまつてらあ動かねのに誰が乘る』　京城　紫雲

▲先生『一を聞いて十を知らなければいけません』生徒『私は百も知つて居ます』　鎮南浦　紫紫

△掛ゑ　締切七日　發表九日
△謎『西瓜と掛けて』同　八日　同　十日
△狂歌『汽車』同　九日　同　十一日
△俗謠『行水』同　十日　同　十二日
△川柳『目』同　十一日　同　十三日
△物は付『非常識なもの』同　十二日　同　十四日
△次回一口噺題意　同　十三日　同　十五日

夏はコシケが強くなる

油斷のならぬ婦人病

夏は男女とも暑さの爲に身體が衰弱して足腰がダルかつたり、食欲が進まなかつたり、矢鱈に睡氣がさしたり、又は頭痛眩暈等すべて氣力が衰へるものですが、殊に婦人は體質が弱いから一層病氣に犯され易くなります就中最も多いのは婦人が一口に血の道だと稱する子宮病で今や婦人にとつては一番危險な時季です。其證據には第一に身體がダルクなると共に白帶下が強くなる、極めて健康の人も月經以外に分泌物が多くするもので人は夏になると分泌機能が盛になるのに急に其こしげが強くなつて子宮內膜炎となるのであります、ツマリ惡臭を放つほどの腐敗した粘液が增加して子宮の內部が爛れるから其處に炎症を起すのであります。それを打棄ておくと足腰が引吊り、下腹にゴロゴロした塊が出來て子宮が痛んだり、月經でもない時に出血したりして遂に慢性症となり、或は不姙症に陷りて一生取返しのつかぬ事になるのです。

怖るべき白帶下

何故白帶下が不姙症の原因になるかと申せば之には三つの理由があります。第一にドロドロした粘液の爲に精蟲の進路を塞がれる、第二に卵が姙孕せんとしても發育する場所がなくなる、第三は白帶下の中に強い酸性を含んで居て子胤となるべき精蟲を殺す。以上の理由から白帶下の強い婦人は子供が出來ぬのでありますす、ところが世間には白帶下位女に有りがちなものだなど〻思つて手當もせずにゐる人がありますが實に危險至極な話で、その爲め全身衰弱を起して一命を失ふやうになつた例は澤山あります、それ故少しでも白帶下のあるのは怖るべき婦人病の證據ですから一刻も早く油斷せず加療せねばなりません。

婦人病自宅療法

そこで子宮病の療法として何が最も安全確實であるかと申せばそれは婦人科專門大醫の書かれた『婦人病者の心得』といふ女一代の衞生書を讀んで其通り實行する事です、本書には姙娠と不姙の原理、婦人病一切の療法、産前産後の養生法まで詳しく說いてありますから、何人も自宅で容易に治療する事が出來ます。右『婦人病者の心得』御入用の方は東京市京橋區新榮町笹岡省三氏宛ハガキ又は電話にて御申し込次第無料送呈致します

婦人病を治して　子寶を得る鍵は　命の母

效能　●子宮內膜炎●下腹腰痛●子宮頸管カタル●白帶下●赤帶下●ヒステリー●血の道●月經不順

實驗子福ノ一　長州萩町　齋藤氏愛兒

實驗子福ノ二　朝鮮龍山　酒井氏愛兒

藥價　試用二十日分　三十五錢　七十日分　八十錢　郵稅二十錢

本舖　東京市京橋區新榮町　電話京橋二一〇一　大阪市北區本庄中野町　電話東二二三二　笹岡藥房

●小兒の溺死　京畿道陽川郡[illegible]附近に於て遊泳中游泳の技能なきを以て突然溺に陷りたるを附近の小兒發見し急を報じたるにより直に近邊[illegible]屍の上屍體は罹主王永來に引渡せり（仁川）

[illegible]浩萬（三[illegible]）は十[illegible]回憲兵所にて說諭を受けたる曲者なるが七月二十五日午前十一時頃麻浦の路上にて知己なる[illegible]れ取調べの

●餓死　八月四日京畿道漣川郡々內面東布里の路傍に乞食體の男行倒[illegible]

●水田で溺れる　京畿道驪州郡興川面栗梧里林鉉秀長男林巳淺（八）は八月二日午前十一時頃同里の李昌[illegible]せしも能はず林は水泳の心得なき爲め遂に溺死せり

●正直な鮮婦人　京城平洞崔熙永の[illegible]たるものなりと

●連絡船上陸客　六日朝入港　新羅丸一二等客[illegible]

六日夜入港の高麗丸一二等客[illegible]

女鳩

渡邊默禪

(六八) すりかへ

住江は少時それを見詰めてゐたが、軈て頷いて椅子の下からそつと右の足を伸した。さうして爪先でその包を引き寄せて、自分の足の下に持つて來てから手に拾ひ上げて、笑いこ臉を立つた。室の入口まで來て廊下を見ると、輝子は何の氣もつかずに夢中になつて喝采してゐた。急いで自分の居間に戻つてから、よく検めて見ると、白羽二重の手巾へ無雜作にくる〳〵と包んだ一枚の寫眞で、若い外人の半身像が寫つてゐた。臺紙の裏へ歐文で何か書いてあつたのが彼女には讀めなかつた。あゝ是だな、彼の時秀さまに見せたのが——と直心づいた。輝子の情夫であつて秀子には實の父だといふゲルマン種の米人ハンスマルラー其人の面影は、今日といふ今日まで主人としての秀子から、餘儀なき服從を強ひられてゐた彼女の柔順な心を引裂くやうに、ぴりぴりとした強い衝動をもつてその胸を襲はし立てた。彼女は憎惡と侮蔑の目でそれを見入つた。忽ち顔を顰めていきなり疊にたゝきつけた、さながら醜い毛蟲になど觸れた時のやうに。

ふと思ひ出したのは、その寫眞を見せられた折に秀子の言つた詞である。

『母さま、私これを頂戴して置きますわ。お懐かしいお父樣ですもの、切めてお姿だけなりとも眺めて朝夕の思ひ出にしたければ、私遣瀨がないおやでございませんか。』

すると、輝子は首を掉つて如何言つたか。

『不可ません、こんな物を持つてゐて、ひよつと家の者に露見つたら、それこそ大變です。さうでなくつてさへ種々に疑られてゐるお前ぢやありませんか。萬しも此の寫眞から秘密が洩れるやうなことにでもなると百日の說法も何とやらです。まア〳〵母さんに預けときなさい。見たい時にはいつでも持つて來て上げるから』

と惑うであつた。惡く推して見ると、この寫眞を秀子に渡さずに自分が持つて居れば、危險を豫防するといふことの外に、秀子の心を餘計に自分の方へ惹つけることも能きるし隨つて邂逅の機會を於多く得られるといふ駆引かも知れぬ。飽まで若い女の心持を知りぬいてゐる輝子にはありさうなことだ、と住江はその時に斯う思つたのであるが、さて斯うして自分の手に拾ひ上げて見ると、あの折に秀子に渡して置きさへすれば何のこともないのに、とその惡を笑はずには居られなかつた。

『よしツ、少し驚かしてやるわ。』

片意地な住江は直と敵の裏をかいてやる工夫をした。棚の上から寫眞帳をもつて來て、その中から抜き出した或る寫眞と取替つこに、前の通りに手巾にくるんで、そして再び興場にとつて返すと、最う秀子のダンスがお仕舞になつて、幹事の香月女史が挨拶をしてゐる所だつた。彼女はこつそりと輝子の後に行つて鏡の位置にそれを投げ出してから、遠のいて様子を見てゐた。

閉會になつて皆なお椅子を立つ時に、輝子は始めてそれと氣づいたらしく、急に慌てゝ搜し始めた。

『あらどうしたんでせう。確かに此所へ入れといたんですがね。』

『何でございます。』隣席の婦人が訊いた。

『いゝえ、あの、包物で……。』

『見えなくなつたんですか。』氣の毒さうに其邊を搜してゐたが『あゝ、貴女、これおやございませんか』と椅子の下から拾ひ上げて渡した。

『有うです〳〵、どうも有難う。』

輝子は悦んで衣兜に入れた。住江はおかしさを忍んで素提く人際に隠れた。音樂室ではさかんに別れの曲を奏で出した。

南阪居俳句會句集

短夜

(五點) 坊々や明け易き登山客の聲　浮碧樓

(四點) 短夜を爽掃きざくり〳〵哉　草平

(三點) 久方の情話に更けて明け易き　大柿

赴任の明日立つ宿や明易き　皐天

竹植ゑて

(四點) 竹植ゑて腰を伸すや月のかげ　新涯

(三點) 空鳴の雷止めし庭や竹植ゆ　默堂

竹植ゑし窓に微風や釣燈籠　南涯

禪寺に竹植ゆる男や鬚伸びて　南涯

竹植ゑて雨となる夜の戰き哉　草平

青田

(四點) 水利成つて今年早を青田哉　皐天

(三點) 峠茶屋見下す谿の青田哉　醉王

葬れゆく青田見ゆる瀬戸の風呂　菊子郎

(二點以下省く)

農場の窓より青田雲に入る　皐天

河を前に三戸の村や田の青み　草平

新刊紹介

▲實業帝國(八月號) 實業及び政治に關する記事相半ばせり前者には銀行頭取專任論(山田英太郎)日露の盟約と經濟上の價値(加藤政三郎)等あり後者には梅山莊物語(鶴川道人)後藤內閣と伯寺內(濱向生)等あり生れて日淺し健在なる發達を祈る(十一錢東京市日本橋區本町一の一四共社)

▲朝鮮銀行月報(七の六) 本年六月に於ける同行營業報告及調查資料欄には政府財政貿易、物價及び外國、郵便貯金及び郵便爲替、手形交換等の外朝鮮、滿洲、內地の金融狀況を載せたり(五十錢朝鮮銀行)

▲ニコ〳〵(八月號) 千題女史の月待オフセツト版の洗麗なる口繪に次ぐ新聞賣者、新元帥、新大將、新任國使、新郎新婦等新づくしのニコ〳〵寫眞を卷頭に記事には佐々國國の日本古代の迷信、松下博士の心の美と肉體、中村博士の吐月峰ぬ田舎な物の擬多の寒天的報物依例豊富(二十錢東京市麴町區有樂町三の三共倶樂部)

▲工友(二〇) 勞働誰語土術の屁弱樣式と共勞、科學と戰爭、無音警報器に成る移(十錢京城長谷川町八四工友倶樂部)

▲農業世界(八月號) 本邦肥料界の過去現在及將來(大工原博士)本邦耕地分配の概要(羽原學士)ボルチオ久然農園(堺谷赤殺)等見るべし(二十錢東京市日本橋區博文館)

▲帝國青年(八月號) 日露の提携と青年(伊達源一郎)十兵の紳士(郡場大將)工業立國論(小林博士)供食社會(幸田和伴)讀者訓(山路愛山)等青年の讀むべきもの多く猶第二回懸賞小說當選發表あり(十錢東京市麴町區內幸町一共發行所)

▲團欒(煩悶と慰安號) 女學生時代の煩悶と解決(宮田修)及び煩悶と宗教、嫉妬心ともだえなやみ、孤獨を悲しむ女、義理と人情との板ばさみ、結婚と煩悶、其他に關し諸名士名婦人の說を集めたるは婦人にさりて甚だ趣味あるものにして又社會問題解決の一端を窺ふべく銘々の讀物として好絕(十八錢大阪府豐能郡豐野田村二〇七七共社)

▲教育の實際(八月號) ナイルヌ氏の墾死と自由主義の教育、我教の犠牲的精神表現、小學校女教員の長短、美的教育の要求に就て、教材に於ける新體の教育的意義、計算力の增進に就て、水泳に就て等總て教育實際家の看過すべからざる好文字(二十五錢東京市日本橋區本石町實文館)

▲大陸(八月號) 滿蒙經營上必讀必須の好文字を以て滿たせり曰く男子寺內總督論(山田忍吉)滿洲北支那將來の攻策(藤澤參政官)滿蒙占領なる朝鮮と滿洲(和田瀧郡議員)と露國の東方策(北西南東)と滿蒙問題と各方面の意見、蒙古工業原料(野原學士)及(滿蒙鮮鐵一論)(鐵路議員問題)に就て諸名士の說等を載せたる外上げたり下げたり、是如我國帝國倒內消時に警戒せるを見る(二十錢大連通町三の一〇八共社)

▲漢江で溺死者が頻出したので水泳會員が減つたといふがあまり元氣がなさすぎる用心すれば大丈夫です

▲僕は黃金町の小路で色男生君の樣な女性の奇襲には毎度のこと出合して居る僞ら行つて見玉へ(醜男生)

▲南鮮には沾蝕蟲を斃す黴菌が發生して沾蝕蟲大弱りだといふが此菌を人工的に培養して置いて沾蝕蟲の發生した松林に撒いたらどんなものだらう(發明家)

▲此頃掃除夫が三日に一度か四日に一度位しか來ないから困る暑中は是非隔日位に來て貰いたい(南米倉の住人)

▲又たしても市內に不正飲料物あり其筋の取締を希望す(腹痛生)

▲南山公園の松を無造作に伐り倒して甚だしく見苦しい(納涼子)

▲當京城より京元線安邊にて下車致し江原道通川郡歙谷通川郡杆城郡襄陽郡江陵郡旌善郡橫城郡洪川郡春川郡加平郡を經て歸京の予定に有之候右各郡の道路自轉車旅行相成候哉御教導被下度此義御願申上候(いろは)

▲私は活動狂ですが折角此の暑苦敷のに我慢して見て居るのに私の樣な身長の短かい者は困る事がある其れは外ではない帽子を撤する事が出來るなら取つて貰い度活動館に告ぐ(都武士生)

山縣五十雄 村上唯吉共著
富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢
京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

寫眞
寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版
京城日報社 寫眞製版部

熟した椿の實の皮膜を去り、冷壓法を以て搾取したる毛髮の衞生に適し、色艶を麗しくする、純良なる椿油

ミツワ椿油

定價 小壜入……金二十錢 中壜……五勺入……金三十錢 大壜……一合入……金五十五錢 罐入……五合入……金二圓五十錢

毛髮には何故椿油が宜いか？

純正な椿油は不乾性油と云つて、流動の性質を失はず、滲込む力が強く、醱敗すると云ふ事がなく、厭ふべき臭氣を發しないからである。

椿油にも不完全なものが多い

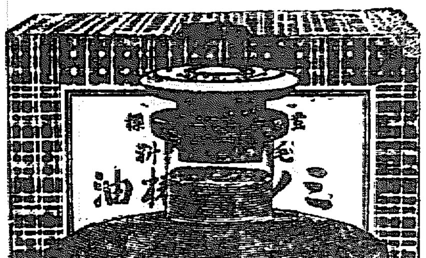
熟し椿油と稱しても、或は色を薄くする爲に白絞(種油)を交ぜたり、日光、アルカリ等で處理して一見純粹の椿油と違はぬやうでも其の性質は變つてゐるものが多いのである。

みつわつばきあぶら ミツワ椿油

は製造法を改良して、冷壓法で強力なる水壓機を用ひ、少しも熱を加へずに搾取した新鮮純良な椿油で

毛髮に滲込む力が強いから、毛髮の發育を助け

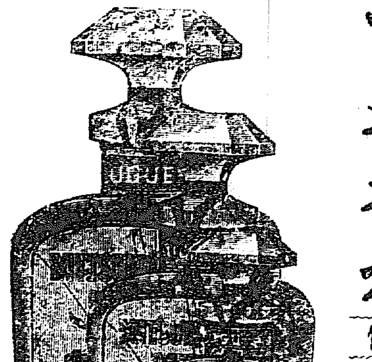
且つ艶且つ色黑く髪を豐富しくし、毛髮と空氣と接觸ることが少く、從つて空氣が毛髮に接觸る結果、濕氣と云つて、毛髮の黑い色素が段々に減り、赤毛や白毛に早く成り易い憂を除き、濕つたり臭氣を發する等のことも無く、何時も艶なしい濡羽色で、裂毛、折毛などの憂は決してないのである。



贅澤で、經濟で、而して最も優良な

三百番香水

定價 各種一均 小壜入……金九十錢 中壜入……金一圓五十錢 大壜入……金二圓五十錢



種類
ヴアヰオレット(すみれ)
ローズ(ばら)
リリー(ゆり)
ムゲット(花の名)
ミモサ(花の名)
ブーケー(花だば)

◎三百番香水は優雅な香で、長い時間香を保つて居ります。

◎香は人によりまして、嗜好を異にして居りますから、先づ三百番として六種の香を異にするものを發賣いたしました。更に追々種類を殖やさうと云ふ計畫であります。

◎香水は折角高價を拂つて求めても、その香が嗜好に合はない場合が多い。三百番香水は一壜毎に小壜の見本を添へてありますから、お嗜好に合ふものをお召しになる便利があります。

◎普通香水は容器の體裁を飾る爲に餘計に高價なものになる弊がありますが、三百番香水は正味のみを目的として居りますから、自然價格も無類の低廉なものになつて居ります。

ミツワ石鹼
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
肝油ドロップス
御園化粧品
發賣元

東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
◎丸見屋商店
電信略號◎ミヤ、振替貯金口座東京七一〇番
電話營業部浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

胃病にて御困りの方は
山田胃散
一ヶ月分二十錢卅錢五十錢一圓 送料無料御注文は必ず前金を要す
京城黃金町三(振替京城公八七番)
本舖 山田文殊堂藥房 電話二九四九

ルーデサック
男用一打四拾錢上製六拾錢
優形特製一個參拾錢女用一個七拾錢
月經帶一個八拾錢寺圓各種(送料要)
▲花柳病自宅療法 申込次第進呈
京城永樂町二丁目交番北
東京ドラッグ商會滿鮮本部

模範純粹培養
牛乳
ヨーグルト
太正塚肥醫獸主場
京城遞信局西
東亞牧場(電話五二一番)

ミカド自轉車店
京城南大門通り 郵便所隣
勉强の親玉

金泉龍泉間自動車發着時間
上り 一番 二番 / 下り 一番 二番
金泉 發 / 知禮着 / 成昌着 / 龍泉着 / 尙州着
▲小荷物運搬仕り候
金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

大邱浦項間自動車發着時間
上り 浦項發 / 安康同 / 永川同 / 河陽同 / 大邱着
下り 大邱發 / 河陽同 / 永川同 / 安康同 / 浦項着
大塚農場自動車部
大邱出張所 電話一一七番

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 第十五共同丸 八月 日午後入港 八月 日午前十時出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱仕候
大連にて大連汽船と青島行定期船に連絡取扱仕候
○城津、淸津、浦鹽行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津浦岸各港を經て雄基行 第三共同丸(元山出帆) 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 本町一丁目(電話一〇八番) 山下回漕部
元山代理店 南大門 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行 立神丸 月 日後五時出帆
○元山、城津、淸津行 元山丸 月 日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行 小倉丸 月 日後五時出帆
○元山、城津、淸津行 第三栄平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○住須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港通町 大池回漕部 本船取扱店

日本郵船仁川出帆
○大連、芝罘、太沽、牛莊行
相模丸 八月七日 後八時出
高砂丸 八月十六日 正午出帆
三河丸 八月廿七日 正午出帆
仁川海岸町 堀回漕部 電話十二番

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下ノ關、神戶、大阪行
○君か代丸 八月十日 後四時出帆
○大有丸 八月十五日 後四時出帆
○神代丸 八月十二日 後四時出帆
○秀吉丸 八月十二日 後四時出帆
仁川海岸 高杉回漕部 電話五十九番

大阪商船仁川出帆
○外國航路の巨船にて最寄港へ最速力を以て運航す
群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行 安東丸 八月八日 / 安寧丸 八月廿一日 / 天草丸 八月十七日 後五時出帆
濟州、門司、神戶、大阪行 勝山丸 八月十三日 後二時出
木浦、釜山、巨濟、長崎行 信濃川丸 八月廿七日 後二時出
木浦、釜山、鎭南浦、大連行 須磨丸 八月十三日 後二時出
淸津、浦鹽、西湖津寄港行(元山出帆)
○上海、打狗行(大連出帆) 八月二十一日 後六時出
切符發賣所 京城 大阪商船會社仁川支店 內國通運會社支店

朝鮮郵船出帆
京城南大門通 松原運送店(電話長一七〇番)
○全羅丸 八月二十日 釜山發
○京畿丸 八月廿一日
○黃海丸 八月十四日
○咸鏡丸 八月十四日 元山發
○穩城丸 八月九日
○昌平丸 八月九日
○鏡城丸 八月廿一日 元山發
○忠淸丸 八月十一日
○平壤丸 八月廿一日 元山發
○永興丸 毎月廿八回 元山發
○盈德丸 八月九日 釜山發
○江陵丸 毎日 釜山發
○襄陽丸 八月十一日 釜山發
○三浦丸 毎日 釜山發
○海州丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 毎日 釜山發
○順天丸 三日目毎 木浦發
○慶興丸 八月九日 木浦發
○公州丸 八月十三日 木浦發
○公州丸 八月 木浦發
○宗信丸 八月八日 仁川發
○江原丸 八月 仁川發
○麗水丸 八月十一日 仁川發
○晉州丸 八月十一日 仁川發
○錦江丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發

商況
大阪株式特電
下關期米特電
▲遂に沸騰す
▲への大豆
七日の十月限